

令和3年度 事業計画書

公益財団法人札幌市芸術文化財団

令和3年度 事業計画書

(令和3年4月1日～令和4年3月31日)

<趣 旨>

当財団は、札幌市の指定管理者として、札幌芸術の森、本郷新記念札幌彫刻美術館、札幌コンサートホール、札幌市教育文化会館、札幌市民ギャラリー、札幌市民交流プラザの市内6施設を管理運営しております。

令和3年度も新型コロナウイルス感染症の影響を受けるところではありますが、各施設とも引き続き感染防止対策に取り組むとともに、オンライン配信など新たな試みも充実させながら、各施設の特性を生かした多彩な事業を展開します。令和3年度に実施する各施設の主な事業として、芸術の森では、15年目を迎える「サッポロ・シテイ・ジャズ」、次世代育成の「札幌ジュニアジャズスクール」や「バレエセミナー」を実施するほか、芸術の森美術館で「THE ドラえもん展 SAPPORO 2021」、「アート×コミュニケーション=キース・ヘリング展」などを開催します。コンサートホールKitaraは、令和2年11月2日から令和3年6月30日まで改修工事のため休館しておりますが、バッハ・コレギウム・ジャパンや神尾真由子など世界的に活躍するアーティストの演奏会のほか、新たな聴衆の開拓や次世代育成事業を一層推進します。教育文化会館では、文楽公演「一谷嫩軍記」、能楽などの伝統芸能をはじめとする質の高い舞台公演やワークショップを実施します。市民交流プラザでは、hitaruを舞台として、地元の芸術団体やアーティストとともにバレエ公演やオペラをテーマにしたオリジナル作品を制作するほか、SCARTSでは展示やレクチャー、ワークショップを実施するなど、芸術文化活動の拠点にふさわしい多様な事業を推進します。

今後とも、当財団が長年築いてきた指定管理者としての実績をもとに、財団の総合力を最大限に発揮し、札幌からの新しい芸術文化の創造と発信に寄与します。

<運営に当たっての基本方針>

1 財団の専門性と総合力を生かした施設運営と魅力的な事業の推進

財団が管理運営を行う各施設間で密接な連携を図りながら、多様な人材を有する財団の組織力や長年培ってきた専門性、幅広いネットワークを効果的に活用することで総合力を発揮し、利用者満足度の高い施設運営を行うとともに、多彩な芸術文化の提供や魅力的で芸術性の高い事業を展開します。

2 芸術文化体験の充実による次世代の人材育成

質の高い様々な舞台芸術や美術の体験機会をさらに充実させることにより、札幌の子どもたちの感性を醸成し、人間性豊かな心を育むことで、将来の愛好者やアーティスト等、次世代を担う人材の育成に寄与します。

3 芸術文化の拠点として人々の交流促進やまちづくりに貢献

芸術関係団体をはじめ、市民や企業、大学等との「共創」を推進する拠点として、また、芸術文化に関わる多様な人々をつなぐ場として、芸術文化活動の活性化や創造性の向上を図るとともに、情報や人材の交流を促進し、札幌の観光や産業の発展を視野に入れたまちづくりに貢献します。

令和3年度事業一覧表

〈芸術文化の創造発信と普及振興事業〉	日 時	道外開催事業		新規
		道外	国外	
I 芸術の森事業部				
1 音楽・舞台芸術事業				
(1) 札幌の文化芸術発信事業				
① サッポロ・シテイ・ジャズ 2021	通年 令和3年7月25日		○	
② ノースジャムセッション				
(2) 次世代の文化芸術の担い手の育成・支援事業				
① 第22期札幌ジュニアジャズスクール	通年 令和3年8月1日 ～8月5日			
② 札幌芸術の森パレエセミナー				
③ 札幌芸術の森ユースジャムセッション	令和3年7月22日 ～7月25日			
(3) 文化芸術を通じた市民活動の促進				
① パークジャズライブ	令和3年9月18日 ～9月20日			
② 芸森アートマーケット	令和3年4月29日 ～10月17日			
(4) 質の高い文化芸術の創造・提供				
① ビックバンドプロジェクト	通年			
(5) 各種団体との連携による文化芸術の振興				
① 各種団体共催・施設利用促進事業	通年			
2 札幌芸術の森美術館事業				
(1) 展覧会事業				
① 札幌美術展 アフターダーク	令和3年2月27日 ～4月11日			
② THE ドラネもん展 SAPPORO 2021	令和3年4月29日 ～6月27日		○	
③ アート×コミュニケーション=キース・ヘリング展	令和3年7月17日 ～9月26日		○	
④ 札幌美術展 佐藤武	令和3年10月9日 ～4年1月10日			
⑤ あらわす・つたえるアート(仮称)	4年1月22日 ～3月13日		○	
⑥ 札幌芸術の森美術館コレクション選	令和3年2月27日 ～4月11日、 令和3年10月9日 ～4年1月10日、 令和4年1月22日 ～3月13日			
(2) 野外美術館				
① ボランティアによる作品解説	令和3年4月29日 ～11月3日			
② 彫刻鑑賞ノート、野外美術館シールマップ	通年			
③ 野外美術館かんじきウォーク	令和4年1月初旬 ～3月中旬			
(3) 教育普及事業				
① 佐藤忠良記念子どもアトリエワークショップ	} 通年			
② 子どもの文化芸術体験事業「ハロー!ミュージアム」				
(4) 利用促進				
① ミュージアムショップ運営及びオリジナルグッズの製作・販売	通年			
(5) 人材育成				
① ボランティア及び美術館協力員	通年			
② 博物館実習	令和3年10月19日～ 22日、26日～27日			
(6) 保管・整理				
① 作品の保存及び管理	} 通年			
② 資料整理				

	日 時	道外開催事業		新規
		道外	国外	
3 工芸・工房事業				
(1) 展覧会事業 ① 芸術の森地区文化祭 ② 第21期工芸館常設展示事業	令和3年11月6日 ～11月7日 通年			
(2) 普及事業 ① 工芸・版画講習会事業	} 通年			
(3) 連携事業 ① 市内小学校、各種事業体、市内文化施設との連携				
4 芸術の森利用促進				
(1) 広報活動 ① ホームページ、SNSの活用 ② ガイドマップや集客チラシの製作、配布 ③ マスコミへの情報提供、誘致活動	} 通年			
(2) 四季を通じた集客促進事業の実施				
(3) 札幌市立大学・芸術の森地区連合町内会等との地域連携				
(4) 各団体との事業提携				
(5) 環境負荷軽減のためのPR活動				
5 彫刻美術館事業				
(1) 展覧会事業 ① 本郷新・全部展② / 記念館 ② 本郷新・全部展③ 彫刻の設計図 / 本館 ③ 本郷新・全部展④ 100の石膏像 / 記念館 ④ 開館40周年記念展 宮の森にある美術 / 本館 ⑤ 本郷新・全部展⑤ 本郷新の言説 / 本館 ⑥ さっぼろ雪像彫刻展2022 / 本館前庭	令和2年10月3日 ～3年4月22日 令和3年4月10日 ～6月27日 令和3年4月29日 ～4年4月10日 令和3年7月3日 ～8月31日 令和3年12月11日 ～4年4月10日 令和4年1月28日 ～1月30日			○
(2) 本郷新記念札幌彫刻賞 ① 第3回本郷新記念札幌彫刻賞受賞記念 高橋喜代史展 言葉は橋をかける / 本館	令和3年9月11日 ～12月5日			
(3) 普及事業 ① 子どもの文化芸術体験事業「ハロー!ミュージアム」 ② 彫美連続講座2021 ③ 美術館めぐり ④ 造形教室	通年 年3回 年2回 年3回			
(4) 協力事業 ① 学校教育への協力 ② ボランティアの受け入れ	} 通年			
(5) 連携事業 ① 地域・企業との連携	随時			
(6) 広報活動 ① ホームページ、SNSの活用 ② 地域住民への情報提供	} 通年			
(7) 利用促進事業 ① サンクスデー ② グッズ販売	令和3年6月27日 令和3年11月3日 通年			

	日 時	道外開催事業		新規
		道外	国外	
II コンサートホール事業部				
1 音楽鑑賞事業				
(1)オーケストラ&合唱シリーズ(Kitaraワールドオーケストラ&合唱シリーズ) ①鈴木優人指揮 バッハ・コレギウム・ジャパン	令和3年11月23日			○
(2)ソリストシリーズ(Kitaraワールドソリストシリーズ) ①カニサレス ギターリサイタル ②神尾真由子&ミロスラフ・クルティシエフ デュオ・リサイタル	令和3年8月9日 令和3年11月19日			○ ○
(3)室内楽シリーズ ①(Kitara・アクロス福岡連携事業)安永徹&市野あゆみ～札幌・九響の室内楽 ②ハンガリーの俊英たち ゲルゲイ・デヴィッチ チェロリサイタル	令和3年9月18日 令和4年2月19日	○		○ ○
2 音楽普及事業				
(1)オルガン事業 ①オルガンワンコインコンサート 1)オルガンウインターコンサート ②オルガンコンサートシリーズ 1)新生! プロジェクションマッピング×オルガン スター・ウォーズ 2)第22代札幌コンサートホール専属オルガニスト デビューリサイタル 3)クリスマスオルガンコンサート 4)オルガンCD制作	令和4年2月11日 令和3年8月20日 令和3年10月2日 令和3年12月18日 令和4年3月			○
(2)Kitara札幌シリーズ ①(Kitaraリニューアル・オープン記念)Kitaraのバースデー～札幌 with 安永徹&市野あゆみ ②Kitaraのクリスマス Elegant&Groovy! ③Kitaraのニューイヤー	令和3年7月4日 令和3年12月25日 令和4年1月8日			
(3)地元音楽家・音楽団体との活動支援・連携シリーズ ①(Kitaraリニューアル・オープン記念)Kitaraのバースデー～札幌 with 安永徹&市野あゆみ(再掲) ②(Kitara・アクロス福岡連携事業)安永徹&市野あゆみ～札幌・九響の室内楽(再掲) ③(北海道教育大学・札幌大谷大学・Kitara連携事業)若い芽の音楽会～北国を翔ける新星 ④令和3年度Kitaraアーティスト・サポートプログラム	令和3年7月4日 令和3年9月18日 令和3年10月16日 令和4年1月27日 令和4年3月14日			○
(4)Kitaraランチタイムコンサート ①ワーヘリ ユーフォニアム×テューバの魅力 ②Kitaraバロック・アンサンブル・シリーズ～トリオ・ソナタで彩る午 後 <small>アフタヌーン</small> ③筑前琵琶で言祝ぐはつ春 ④金子三勇士のきがるにクラシック	令和3年10月30日 令和3年11月6日 令和4年1月15日 令和4年1月23日			○ ○ ○ ○
(5)その他 ①演奏付き防災訓練 ②札幌コンサートホール施設見学会 ③ゆきあかりin中島公園	令和4年1月 令和3年7月 ～4年3月 令和4年2月			
3 教育・人材育成事業				
(1)エデュケーションプログラム ①Kitaraファーストコンサート ②ひろがる! つたわる! オルガンのひびき	令和3年9月27日 ～29日 令和3年11月29日 ～30日 令和3年12月1日 令和4年1月22日			
(2)アウトリーチ事業 ①専属オルガニストによるオルガンアウトリーチ(市内小学校)	令和3年10月 ～4年3月			
(3)セミナー事業 ①リスト音楽院セミナー 1)ハンガリーの俊英たち ゲルゲイ・デヴィッチ チェロリサイタル(再掲) 2)講師による特別コンサート 3)歴代最優秀受講生によるランチタイムコンサート 4)特別レクチャー&公開レッスン 5)受講生コンサート	令和4年2月23日 ～27日 令和4年2月19日 令和4年2月23日 令和4年2月24日 令和4年2月26日 令和4年2月27日			

	日 時	道外開催事業		新規
		道外	国外	
(4) 地元音楽大学等との連携事業 ①〈北海道教育大学・札幌大谷大学・Kitara連携事業〉若い芽の音楽会～北国を翔ける新星(再掲) ②ひろがる! つたわる! オルガンのひびき(再掲) ③リスト音楽院セミナー 特別レクチャー&公開レッスン(再掲) (5) PMF共催事業	令和3年10月16日 令和4年1月22日 令和4年2月26日 令和3年7月			
4 全国ホールとのネットワーク事業				
(1) ホール・他都市連携事業 ①新生! プロジェクションマッピング×オルガン スター・ウォーズ(再掲) ②〈Kitara・アクロス福岡連携事業〉安永徹&市野あゆみ～札幌・九響の室内楽(再掲) ③ワーヘリ ユーフォニアム×テューバの魅力(再掲) (2) 札幌コンサートホールが招へいする音楽家を広く他都市に紹介する ①専属オルガニストによる公演 1) ザ・シンフォニーホール クリスマスオルガンコンサート (3) 国内ホールとの情報交換 ①コンサートホール企画連絡会議(道外)	令和3年8月20日 令和3年9月18日 令和3年10月30日 令和3年12月(調整中) 令和3年7月 令和4年2月		○	
5 その他事業				
(1) 名義共催事業 ①札幌音楽家協議会60周年記念コンサート	令和4年3月19日			○
6 PR活動の充実				
(1) 広報活動 ①公演情報誌「KitaraNEWS」の発行 ②ホームページ、Twitter、Instagram、ラジオ等のソーシャルメディアやマスメディアによる情報提供 ③音楽専門誌、タウン情報誌、フリーペーパー等への広告掲載 ④地下鉄駅構内電照広告の掲出 ⑤通行量が多い公共空間(地下歩行空間等)への広告掲出 ⑥ホールスポンサーの獲得 ⑦Kitaraギャラリーでのホール資料や収蔵品展示によるホールの魅力紹介 ⑧観光客の誘致、旅行・タクシー会社、ホテルとの連携強化 ⑨オリジナルグッズの制作、販売 ⑩各種団体会員へのチケット販売(札幌市労連共済センター、札幌商工会議所、札幌市中小企業共済センター ほか) ⑪全国音楽ホール、音楽事務所、札幌市内公共施設、地下鉄主要駅、ホテル、病院、飲食店等へのポスター、チラシ、KitaraNEWS等の送付 ⑫無料会員制度のリニューアルによるチケット販売促進、広報の強化 (2) ファン育成事業 0歳からのコンサート	通年 令和3年12月3日			○ ○
7 チケット等販売事業				
8 Kitaraボランティアとの連携				
(1) ホール見学案内 (2) Kitaraギャラリー運営補助 (3) 主催事業補助 (リスト音楽院セミナー ほか) (4) 専属オルガニストサポート (日本語レッスン・日本文化の紹介・交流等) (5) 音楽情報誌「シンフォニア」の編集・発行	通年			
Ⅲ 教育文化会館事業部				
1 芸術文化を創造し、発信する事業				
(1) 良質で多彩な舞台芸術作品の鑑賞機会の提供 ①能楽なう ②人形浄瑠璃文楽 ③演劇公演「グッドピープル」	令和3年9月8日 令和3年10月4日 令和3年10月19日			○

	日 時	道外開催事業		新規
		道外	国外	
(2) 札幌の舞台芸術の創造・発表事業 ① 教文演劇フェスティバル2021 ② 教文オペラ (3) 文化施設、文化団体、文化芸術NPOとの協働事業 ① 能楽鑑賞のひとつき ② 演劇シーズン-冬 ③ 人形劇フェスティバル2022-さっぽろ冬の祭典- ④ 子ども舞踊祭 Junior Festival	令和4年3月1日 ~3月5日 令和3年6月 ~4年3月 令和3年11月17日 令和4年1月28日 ~2月6日 令和4年2月11日 ~2月12日 令和4年3月25日			
2 芸術文化の普及振興、育成・支援を行う事業				
(1) 子どもたちのための文化芸術活動の支援事業 ① 子ども演劇ワークショップ ② 小・中学生のための能楽入門 ③ 夏休み子ども体験新喜劇 ④ 子どものためのオペレッタワークショップ (2) 市民と文化芸術をつなぐ人材の育成・支援事業 ① 教文13丁目笑劇一座 ② 教文ダンスワークショップ ③ 子ども演劇ワークショップ(再掲) (3) 学校教育に係る文化芸術活動の支援事業 ① 第39回札幌市小学校児童音楽祭 ② 第73回札幌市中学校音楽会 ③ 第67回高文連石狩支部演奏会 ④ 中文連演劇ワークショップ2021 ⑤ 第36回札幌市中文連演劇発表会 ⑥ 第71回高文連石狩支部高校演劇発表大会 ⑦ 第16回北海道中学生演劇発表大会 (4) 将来の文化芸術活動を活性化させるための情報の収集、提供事業 ① 公立文化施設等とのネットワーク ② 実演家などの専門家との交流やメディアの活用 ③ アンケートの実施	令和3年12月 ~4年3月21日 令和3年7月29日 ~7月31日 令和3年8月1日 ~8月3日 令和3年9月 ~12月26日 通年 令和3年12月4日 ~12月5日 令和4年2月5日 令和3年10月31日 令和3年6月17日 ~6月18日 令和3年5月22日 令和3年8月1日 ~8月4日 令和3年9月30日 ~10月7日 令和3年11月27日 ~11月28日 } 通年	○		
3 札幌市民芸術祭				
① 札幌市民劇場 ② マンドリン音楽祭 ③ ギター音楽祭 ④ 市民合唱祭 ⑤ さっぽろ市民文芸(第38号刊行) ⑥ 新人音楽会 ⑦ 邦楽演奏会 ⑧ 市民美術・書道展 ⑨ 札幌市民吹奏楽祭 ⑩ 市民写真展	通年 令和3年5月30日 令和3年9月5日 令和3年10月16日 ~10月17日 令和3年10月下旬 令和3年11月3日 令和3年11月14日 令和3年12月8日 ~12月12日 令和4年1月29日 ~1月30日 令和4年2月4日 ~2月11日			

	日 時	道外開催事業		新規
		道外	国外	
2 札幌文化芸術交流センターに関する事業				
(1)文化芸術の普及・発信、にぎわい創出事業				
①テクノロジーとヒューマニティ展(仮称)	令和3年9月3日 ～10月10日			○
②++A&T SCARTS ART&TECHNOLOGY Project～プラプラット	年2回(調整中)			
③SCARTSステージシリーズ	年5回			
④連携事業	通年			
⑤プラザフェスティバル(再掲)	令和3年10月1日 ～3日			
⑥Sapporo Winter Change 2022	令和4年2月			
⑦西2丁目地下歩道映像制作プロジェクト	} 通年			
⑧インフォメーションカウンター				
⑨SCARTSウェブ				
(2)文化芸術活動支援事業				
①SCARTS相談サービス	通年			
②SCARTSレクチャーシリーズ	年5回			
③アートコミュニケーション事業	通年			
④公募企画事業	令和3年6月 ～4年3月			
⑤助成金事業	通年			○
(3)文化芸術に関する調査研究事業				
①調査研究事業	} 通年			
②SCARTSレポート(活動記録集)				
3 広報・利用促進に関する事業				
(1)広報				
①広報誌作成と事業広報との連携強化	} 通年			
②ホームページ、SNSなどを活用した広報				
③メディア対応とプレスリリース				
④その他の広報制作物				
(2)利用促進				
①施設利用に関する営業	} 通年			
②会員制度の運営				
③協賛制度の運営				

芸術の森事業部 令和3年度主催事業スケジュール

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
音楽・舞台芸術事業	<ul style="list-style-type: none"> ●(通年)サッポロシティジャズ2021 ●(通年)ジャズセーバーズ ●(通年)第22期札幌ジュニアジャズスクール 	<ul style="list-style-type: none"> ●4/29-10/17 (年5回)芸森アートマーケット 		<ul style="list-style-type: none"> ●7/25 リースジャムセッション ●7/22-25 ユースジャムセッション ●8/1-5 札幌芸術の森ハイレセミナー ●9/18-9/20 パークジャズライブ 					<ul style="list-style-type: none"> ●12/1-7 シアタージャズライブ等(hitaru ほか) 			
札幌芸術の森美術館事業	<ul style="list-style-type: none"> ●(通年)各種団体共催施設利用促進事業 	<ul style="list-style-type: none"> ●(通年)ビッグバンドプロジェクト ●(通年)THE ドラえもん展 SAPPORO 2021 ●札幌美術館 アフターダーク ●札幌芸術の森美術館コレクション選 ●ポランティアによる作品解説 	<ul style="list-style-type: none"> ●6/27 	<ul style="list-style-type: none"> ●7/17 ●アート×コミュニケーション=キースペーシング展 	<ul style="list-style-type: none"> ●9/26 ●札幌美術館 佐藤武 ●札幌芸術の森美術館コレクション選 			<ul style="list-style-type: none"> ●10/9 ●10/19-22-26-27 ●博物館実習 	<ul style="list-style-type: none"> ●11/3 	<ul style="list-style-type: none"> ●1/10 ●1/22 ●野外美術館かんじきウォーク 	<ul style="list-style-type: none"> ●1/22 ●あらむすつたえるアート(仮称) ●札幌芸術の森美術館コレクション選 	<ul style="list-style-type: none"> ●3/13
工芸・工房事業		<ul style="list-style-type: none"> ●第21期工芸館常設展示事業 ●(通年)工芸版画講習会事業 ●(通年)市内小学校、各種事業体、市内文化施設との連携 										
利用促進	<ul style="list-style-type: none"> ●(通年)広報活動 ●(通年)大学・町内会との地域連携 ●(通年)環状島崎緑地のためのPR活動 ●4月・5月謎解きイベント ●4/29-5/5 芸森スプリングフェスタ 	<ul style="list-style-type: none"> ●(通年)四季を通じた集客促進事業の実施 ●(通年)各団体との事業提携 	<ul style="list-style-type: none"> ●7/24-25 芸森バーズデー 	<ul style="list-style-type: none"> ●9月下旬 あしたのけいもり ●10/16-17 芸森紅葉イベント(仮称) 			<ul style="list-style-type: none"> ●(通年)ミュージアムショップの運営 ●(通年)ミュージアム コース説明会 及びオリジナルグッズの製作・販売 ●11/6.7 芸術の森地区文化祭 	<ul style="list-style-type: none"> ●(通年)ボランティア及び美術館協力員 ●(通年)作品の保存及び管理 	<ul style="list-style-type: none"> ●(通年)資料整理 	<ul style="list-style-type: none"> ●1/29 雪あかりの祭典 		<ul style="list-style-type: none"> ●4/10
彫刻美術館事業	<ul style="list-style-type: none"> ●本郷新 全部展③ 彫刻の設計図 ●本郷新 全部展② ●(通年)ハロー-I ミュージアム 	<ul style="list-style-type: none"> ●6/27 ●宮の森にある美術 ●本郷新 全部展④ 100の石膏像 ●6/27 サンクスデー ●(年3回)造形教室 	<ul style="list-style-type: none"> ●8/31 	<ul style="list-style-type: none"> ●9/11 ●高橋晋代史展 言葉は橋をかける ●9月 博物館実習 ●(年2回)美術館めぐり 	<ul style="list-style-type: none"> ●10月 中学生職場体験 ●11/3 サンクスデー 		<ul style="list-style-type: none"> ●12/5 ●12/11 	<ul style="list-style-type: none"> ●本郷新 全部展⑤ 本郷新の言説 	<ul style="list-style-type: none"> ●1/28-29-30 さしぼろ雪彫刻展2022 	<ul style="list-style-type: none"> ●4/10 		<ul style="list-style-type: none"> ●4/10

コンサートホール事業部 令和3年度主催事業スケジュール

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
※改修工事休館 (令和2年11月2日～令和3年6月30日)												
音楽鑑賞事業								23 バッハ・コレギウム・ジャパン 19 神尾真由子&ミロスラフ・クツァリシエフ・デュオ・リサイタル				19 ハンガリーの後英たち・ゲルグイ・デヴィッチ・チエコロ・リサイタル 11 オルガン・ソング・イン・ター・コンサート
音楽普及事業									18 クリスマス・オルガン・コンサート 25 Kitararaのクリスマス・Elegant & Groovy!	8 Kitararaのニュー・イヤール		14 Kitararaアーティスト・サポート・プログラムⅡ
教育・人材育成事業												
コンサートホール事業												
ホール・他都市連携事業												
札幌コンサートホールが招へいする音楽家の紹介												
名義共催事業												
その他												
19 札幌音楽家協議会60周年記念コンサート												

教育文化会館事業部 令和3年度主催事業スケジュール

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	
芸術文化を創造し発信する事業	良質で多彩な舞台芸術作品の鑑賞機会の提供					●9/8 能楽なう	●10/4 人形浄瑠璃文楽 ●10/19 演劇公演「グッドビーブル」					●3/1-5 教文演劇フェスティバル2021	
	札幌の舞台芸術の創造・発表事業		●6月～3月 教文オペラ										
芸術文化の普及・振興、育成・支援を行う事業	文化施設、文化団体、文化芸術NPOとの協働事業							●11/17 能楽鑑賞のひととき		●1/28-2/6 演劇シリーズ・冬 ●2/11-12 人形劇フェスティバル ●3/25 子ども舞踊祭			
	子どもたちのための文化芸術活動の支援事業				●8/1-3 夏休み子ども体験新書劇 ●7/29-31 小中学生のための能楽入門		●9月～12/26 子どものためのオペレッタワークショップ			●12月～3/21 子ども演劇ワークショップ			
	市民と文化芸術をつなぐ人材の育成・支援事業									●12/4-5 教文ダンスワークショップ			
	学校教育に係る文化芸術活動の支援事業					●5/22 中文連演劇ワークショップ2021 ●6/17-18 第67回高文連石狩支部演奏会 ●8/1-4 第36回札幌市中文連演劇発表会	●9/30-10/7 第71回高文連石狩支部高校演劇発表大会 ●10/31 第73回札幌市中学校音楽会					●2/5 第39回札幌市小学校児童音楽祭	
	将来の文化芸術活動を活性化させるための情報の収集、提供												
	公立文化施設等とのネットワークを構築するための専門家との交流やメディアの活用												
	アンケートの実施												
	札幌市民芸術祭												
		●(通年)札幌市民劇場		●5/30 マンドリン音楽祭	●7/11 ギター音楽祭オーティション ●8/9 邦楽演奏会オーティション		●9/5 ギター音楽祭 ●9/15-16 新人音楽会オーティション	●10/16-17 市民合唱祭 ●10月下旬「さっぽろ市民文芸」刊行	●12/8-12 市民美術・書道展 ●2/4-11 市民写真展				
	市民ギャラリー事業												
●市民ギャラリー美術映画会(年間10回) ●5/15 市民ギャラリー手づくり作品市場				●7/16 カルチャーナイト2021 ●(調整中)教文13丁目笑劇一座出張公演 ●7/23-24 陶芸体験教室 ●7/24-25 七宝体験教室 ●(調整中)開館40周年記念 カタチがテーマの絵画公募展「〇展」 ●8/3-8 高文連石狩支部美術・書道展 ●8/15 夏休みおえかきワークショップ		●11/16-21 札幌市中学校美術・書道展 ●12/11 市民ギャラリーウィンターコンサート ●(調整中)中央区東地区連合町内会コンサート ●12/24-26 ロビーミニ上映会	●1/15 開館40周年記念 冬休み子ども映画会 ●1/16 開館40周年記念 冬休みおえかきワークショップ	●(調整中)札幌圏大学生合同写真展 ●3/26 開館40周年記念 春休み子ども映画会					

市民交流プラザ事業部 令和3年度主催事業スケジュール

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
創造事業											●2/27 〈hitaru〉レエプロジェクト プレイ公演「白鳥の湖」 Creative Opera Mix	
鑑賞事業											●1/15 hitaruのひととき VR能「攻殻機動隊」 ●11/25 hitaruのひととき ANUNA 神祕のアルティマティックコース	
普及・育成事業											●12月 共催事業の誘致 ミュージカル(調整中)	
交流事業											●3/10-17 (調整中) クリエイティブ スタジオ活用事業	
普及・発信(にぎわい) 創出事業											●11/23 クリエイティブスタジオ活用事業 クリエイティブスタジオ シネマシリーズ-4	
活動支援事業											●9/23 クリエイティブスタジオ活用事業 シネマシリーズ-5 ●8/27-9/5 (調整中) 高瀬格「歓迎されざる者」札幌編(仮称)(調整中)	
調査研究事業											●10/1-3 プラザフェスティバル	
広報											●9/3-10/10 テクノロジーとヒューマニティ展(仮称) ●10/1-3 プラザフェスティバル[再掲]	
利用促進											●2月 Sapporo Winter Change 2022	
札幌文化芸術劇場に関する事業												
札幌文化芸術交流センターに関する事業												
広報・利用促進に関する事業												

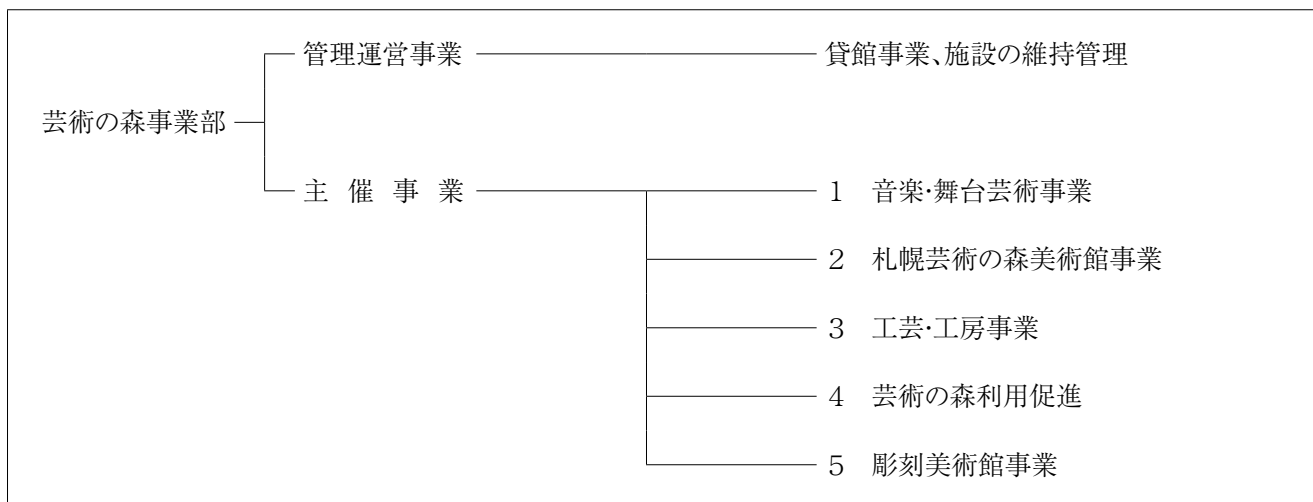
〈 詳 細 資 料 〉

1 芸術文化の創造発信と普及振興に関する事業

定款第4条第1～2号に掲げる事業は、次の計画により行う。

I. 芸術の森事業部

1. 事業体系



2. 管理運営事業

		令和元年度実績	令和2年度見込	令和3年度目標	
利用状況	芸術の森	野外美術館 観覧者数	79,299人	42,800人	50,000人
		札幌芸術の森美術館 観覧者数	247,096人	180,000人	170,000人
		総入園者数	607,759人	428,000人	500,000人
	注) 各工房の講習会受講者数等は総入園者数に含まれる。				
	彫刻美術館	本館 観覧者数	9,226人	8,500人	9,000人
		記念館 観覧者数	6,259人	7,000人	6,000人
		総入館者数	15,485人	15,500人	15,000人

※札幌市による新型コロナウイルス感染症対策の一環により、令和2年4月14日～令和2年5月25日は駐車場を含めた全施設を休館
令和2年5月26日～令和2年5月31日は駐車場、芸術の森センター、野外美術館を除いた施設の休館を継続

3. 主催事業

1 音楽・舞台芸術事業

(1) 札幌の文化芸術発信事業

① サッポロ・シティ・ジャズ 2021

音楽を通して札幌の魅力を生み出し発信する取り組みとして継続実施する事業の15年目。夏季は、ホテルやビアガーデン等とタイアップするステージを開催し、12月には札幌市民交流プラザを会場に、シアタージャズライブをはじめ、SCARTSコートなどの各種スタジオで、子どもやジャズ初心者、障がい者を対象とした普及ライブと市民講座としてジャズサロン、図書館との連携など、施設の機能を生かした事業を開催する。

期 日：通年（札幌市民交流プラザ企画は令和3年12月1日（水）～12月7日（火））

会 場：札幌市民交流プラザ ほか

主 催：サッポロ・シティ・ジャズ実行委員会〔札幌市、札幌芸術の森（札幌市芸術文化財団） ほか〕

② ノースジャムセッション

芸術の森野外ステージを会場に開催する野外ジャズフェスティバル。市民の音楽活動の振興を目的に地元を拠点に活動するグループの演奏と、市民への質の高い演奏の提供を目的として行うトッププロの演奏による2部構成で開催する。

期 日：令和3年7月25日（日）

会 場：野外ステージ

(2) 次世代の文化芸術の担い手の育成・支援事業

① 第22期札幌ジュニアジャズスクール

ジャズ音楽を通じた子どもたちの豊かな情操の育成を目的に、平成12年度より継続実施する事業の22年目。毎週末に定期練習を行い、定期演奏会をはじめ病院や福祉施設、地域イベント等で演奏活動を行う。道内他地域のジャズスクールとの合同合宿・演奏会などを連携して開催する。

期 日：通年

会 場：アートホール ほか

② 札幌芸術の森バレエセミナー

次世代のバレエダンサーの育成を目的として、全国から受講者を募集して行う。令和3年度は元東京バレエ団の高岸直樹をはじめとする国内講師陣により、初級から上級クラスまでを対象にクラシック、ヴァリエーション、コンテンポラリー、ジャイロキネシス等の充実したレッスンを実施する。

期 日：令和3年8月1日（日）～8月5日（木）

会 場：アートホール

③ 札幌芸術の森ユースジャムセッション

10代の中高校生を対象に3カ年計画で実施するジャズセッション事業の2年目。道内外のユース世代のジャズバンドを招聘し、ジャズとジャズコーラス、さらにストリングスを加えた編成で新たなサウンドの創造を目指す。

期 日：令和3年7月22日（木・祝）～7月25日（日）

会 場：アートホール、野外ステージ

(3) 文化芸術を通じた市民活動の促進

①パークジャズライブ・ジャズセーバーズ

市民に広く演奏活動やイベント運営の担い手の役割としての機会を与え、自らの手でイベントをつくり上げることを通じて市民文化の醸成を目的として実施する。秋季の3連休に市内15会場で約270組が演奏を繰り広げる。あわせて実力バンドによるコンテストを札幌芸術の森で開催する。

期 日：令和3年9月18日(土)～9月20日(月・祝)

ジャズセーバーズ事業は通年

会 場：アートホール、札幌市教育文化会館、札幌駅前広場エキヒロ ほか

②芸森アートマーケット

芸術の森を会場に、市民アーティスト相互の交流や発表の機会の創出、また芸術の森の賑わいの創出を目的として手づくり作品によるマーケットを開催する。屋内美術館の会期や「芸森スプリングフェスタ」など園内誘客イベントにあわせた屋内会場での開催も行い、集客における相乗効果を図る。

期 日：令和3年4月29日(木・祝)～10月17日(日) 計5回

会 場：園内各所

(4) 質の高い文化芸術の創造・提供

①ビッグバンドプロジェクト

札幌を拠点に活動するプロミュージシャンによるビッグバンドプロジェクト事業の10年目。世界的なジャズピアニストのデビッド・マシューズを音楽監督に迎え、ワークショップを重ね成果発表公演を行う。

期 日：通年

会 場：アートホール ほか

(5) 各種団体との連携による文化芸術の振興

①各種団体共催

札幌芸術の森の施設を活用した芸術文化団体との共催事業、また市内各所を会場とする他団体とのタイアップ事業を開催する。運営ノウハウとネットワークを生かし、芸術文化振興を図るとともに芸術文化による街づくりを促進する。

期 日：通年

2 札幌芸術の森美術館事業

(1) 展覧会事業

①札幌美術展 アフターダーク

テーマを設定し、地域の美術家を紹介してきた「札幌美術展」。今回は、文明の発達に伴い人々が常に向き合ってきた「夜」という時間帯に焦点を当てた展覧会を開催する。都市のネオンサインや夜空に浮かぶ星、動物たちの営み、睡眠や夢の世界などをテーマとした表現活動を行う北海道および札幌の現代作家を選出・紹介。

期 日：令和3年2月27日(土)～4月11日(日)38日間

会 場：札幌芸術の森美術館

共 催：株式会社北海道新聞社

②THE ドラえもん展 SAPPORO 2021

新規

「あなたのドラえもんを作ってください。」をテーマに、国内外で活躍する現代美術家28組に制作を委嘱。絵画・彫刻・写真・映像・インスタレーションなど各アーティストによる様々な発想や技法で表現された「ドラえもん」を紹介する。

期 日：令和3年4月29日(木・祝)～6月27日(日)60日間

会 場：札幌芸術の森美術館

共 催：北海道テレビ放送株式会社、株式会社エイチ・テー・ビー・プロモーション、株式会社北海道新聞社、株式会社道新文化事業社

③アート×コミュニケーション=キース・ヘリング展

新規

1980年代のアメリカ美術を代表するアーティスト、キース・ヘリング(1958-1990)の回顧展。ストリートアート、グラフィティ・アートの先駆者でもあるヘリングの功績を、絵画や彫刻、グッズなど、中村キース・ヘリング美術館が所蔵する作品によって紹介する。

期 日：令和3年7月17日(土)～9月26日(日)72日間

会 場：札幌芸術の森美術館

共 催：北海道放送株式会社

④札幌美術展 佐藤武

2008年より地域にゆかりのある美術家を紹介してきた「札幌美術展」の第14回。北海道札幌市・石狩市を拠点に活動する画家・佐藤武(1947-)の回顧展。佐藤の画業の変遷を詩とあわせて辿るとともに、立体作品や写真といった近年取り組む絵画以外の制作も紹介し、旺盛な創作活動を続ける作家像に迫る。

期 日：令和3年10月9日(土)～令和4年1月10日(月・祝)80日間

会 場：札幌芸術の森美術館

⑤あらかず・つたえるアート (仮称)

新規

札幌芸術の森美術館の所蔵する約1,700点の作品から、選りすぐりの作品を展示。より美術に親しむためのワークショップの実施や、ギャラリートークとしてハロー!ミュージアム事業で小学生と行っている対話による鑑賞を取り入れるなど、教育普及事業の充実を図る。

期 日：令和4年1月22日(土)～3月13日(日)44日間

会 場：札幌芸術の森美術館

⑥札幌芸術の森美術館コレクション選

約1,700点の札幌芸術の森美術館のコレクション作品から、近年新たに収蔵した作品を中心に紹介する。

期 日：令和3年2月27日(土)～4月11日(日)38日間、

令和3年10月9日(土)～令和4年1月10日(月・祝)80日間、

令和4年1月22日(土)～3月13日(日)44日間

会 場：札幌芸術の森美術館B展示室

(2)野外美術館

①ボランティアによる作品解説

研修を積んだボランティアスタッフによる作品解説を毎日行う。定時解説のほか、事前に申し込みのあった団体やグループには、希望や所要時間等に合わせたコース組みも行う。

期 日：令和3年4月29日(木・祝)～11月3日(水・祝)

②彫刻鑑賞ノート、野外美術館シールマップ

札幌芸術の森野外美術館の鑑賞の手引きとなる小冊子、および作品をかたどったシールをマップ上に貼って楽しむブックレットを販売する。

期 日：通年

③野外美術館かんじきウォーク

野外美術館休館中の1～3月に「かんじき」を貸し出し、雪の中の彫刻鑑賞を楽しめる機会を提供する。併せて期間中の入館を無料とし、野外美術館の利用促進を図る。

期 日：令和4年1月初旬～3月中旬

(3)教育普及事業

①佐藤忠良記念子どもアトリエワークショップ

子どもの造形教育に尽力した佐藤忠良の精神を受け、様々なワークショップを開催。また、アーティストを招いてワークショップを開催するほか、予約なしで気軽に体験できるプログラムや制作キットの販売を行う。

期 日：通年

会 場：佐藤忠良記念子どもアトリエ

②子どもの文化芸術体験事業「ハロー！ミュージアム」

札幌市内の小学校及び特別支援学校小学部5年生を学校単位で札幌芸術の森(札幌芸術の森美術館、野外美術館、佐藤忠良記念子どもアトリエ)もしくは本郷新記念札幌彫刻美術館に招待し、芸術作品の鑑賞、それを踏まえた造形活動に取り組む機会を学校に提供する。

期 日：通年

会 場：札幌芸術の森美術館、野外美術館、佐藤忠良記念子どもアトリエ、本郷新記念札幌彫刻美術館

(4)利用促進

①ミュージアムショップ運営及びオリジナルグッズの制作・販売

展覧会関連グッズ、図録等を販売するほか、地元作家の作品を紹介、販売する。また、札幌芸術の森美術館オリジナルのグッズを製作・販売する。

期 日：通年

会 場：札幌芸術の森美術館ミュージアムショップ

(5)人材育成

①ボランティア及び美術館協力員

多様な美術館活動を補佐する人材確保のため、野外作品解説ボランティア及び美術館協力員(資料整理部・教育サービス部)を養成する。

期 日：通年

②博物館実習

美術館学芸員を志す大学生を対象に、6日間にわたる博物館実習(館園実習)を実施。

期 日：令和3年10月19日(火)～22日(金)、26日(火)～27日(水)

会 場：札幌芸術の森美術館

(6) 保管・整理

① 作品の保存及び管理

美術館における収蔵作品の保存及びデータベース管理を行う。※野外美術館の作品も含む

期 日：通年

② 資料整理

美術館における書籍等の二次資料の整理及びデータベース管理を行う。

期 日：通年

3 工芸・工房事業

(1) 展覧会事業

① 芸術の森地区文化祭

札幌市南区芸術の森地区連合町内会による文化事業。芸術の森地区まちづくりセンターと連携し、絵画、写真、書道、工芸等、地域の方々の創作活動の発表の場となる展覧会を開催する。

期 日：令和3年11月6日(土)、7日(日)

会 場：芸術の森センターロビー

主 催：芸術の森地区連合会、芸術の森地区文化祭実行委員会〔芸術の森地区まちづくりセンター、札幌芸術の森(札幌市芸術文化財団)ほか〕

② 第21期工芸館常設展示事業

クラフト作家の展示・販売の機会の提供や、市民が良質なクラフトに出会い、購入できる場の創造を目的に、工芸館常設展示スペースにおいて、道内クラフト作家を中心に作品を展示・販売。道内の作家を特集した企画展示なども行い、クラフト作品の魅力を発信する。また、新たな情報発信として、インターネットによる作品の発表の機会と広く一般に購入の場を提供する。

期 日：通年

会 場：工芸館常設展示ホール内クラフトギャラリー“ベストポケット”、インターネット

(2) 普及事業

① 工芸・版画講習会事業

各分野において、工芸と版画の制作者の拡大に繋がる技術の取得や向上を目指し、市民向けの講習会を通年で開催する。各講習会の対象者を明確にし、参加者の制作意欲を高めるとともに、生活に新たな発見や潤いを得る機会を提供する。

● 一般講習会

陶芸・テキスタイル・七宝・ガラス・金工および版画の、子どもから大人向け講習会を行う。

また、陶芸及び木工分野では工房施設利用促進のための陶芸及び木工教室(工房管理職員による制作教室)を行う。

● グループ講習会

修学旅行やPTA、町内会などの団体を対象に、2時間程度でクラフト作品の制作を体験する講習会を通年開催する。

【陶芸】たまつくりによる制作コース(カップ)

【テキスタイル】絞り染め体験コース(ハンダナ)

【七宝】多色盛りによる制作コース(リーフペンダント)

● オンライン講習会

日程や会場に捉われず、自宅等でクラフト制作体験が可能なクラフトキットをインターネットを通じて販売し、併せて制作解説の動画を配信する。陶芸・テキスタイル・金工・木工の各分野を通年で提供する。

●ふらっとクラフト体験

事前予約不要の気軽なクラフト体験を実施(器に絵付けをしてみよう、たまつくりで器をつくろう、和紙のちぎり絵はがき、お絵かきバンドナ)。

感染拡大防止期間中は未開催としているが、制作体験の機会は上記オンライン講習会として提供する。

●ワークショップ、セミナー

市内文化施設やクラフト関連イベントと連携し、街中でのクラフトを中心とした入門ワークショップ、セミナーを開講することで、工芸の知識や技法に興味を持ちクラフト工房での制作体験への契機としたい。

期 日：通年

会 場：クラフト工房、染工房、織工房、木工房、版画工房、陶工房ワークショップルーム、市内各所

(3)連携事業

①市内小学校、各種事業体、市内文化施設との連携

工芸・版画講習会事業をアウトリーチ事業として開催。

期 日：通年

会 場：市内小学校、各種事業体、市内文化施設等

4 芸術の森利用促進

(1)広報活動

①ホームページ、SNSの活用

札幌芸術の森で行う展覧会や講習会等の事業、貸工房をはじめとする各施設などの情報について、ホームページやフェイスブック、インスタグラムなどSNSを活用し、積極的に情報を発信することによりPRを行うとともに、利用者の利便性向上に努める。

②ガイドマップや集客チラシの製作、配布

来園者を対象に広い園内をわかりやすく紹介する園内ガイドマップを作成し配布することで、サービス向上を図りつつ、来園目的以外の施設へも足を運び園内を周遊してもらえるよう促す。市内小学校の全児童に年2回、夏・冬休みのイベントをまとめた子ども向け情報紙を配布する等PRを行う。

③マスコミへの情報提供、誘致活動

芸術の森の情報を掲載した「今週の芸森。」をマスコミや関係各所にインターネット等で配信し、各事業でのマスコミへの働きかけとあわせ、メディアで記事として取り上げてもらうよう積極的にPRに努める。また、旅行会社や市内ホテルと連携し、MICE事業、インバウンドツアーの誘致、修学旅行の誘致を図る。

(2)四季を通じた集客促進事業の実施

自然豊かな環境を活かし、季節ごとの芸術の森の魅力を感じることができる事業を実施する。各事業では、四季の移り変わりに応じて各所で子どもから大人まで楽しめるプログラムを実施し、園全体の賑わいを創出する。気軽に足を運び、芸術の森を認知してもらうきっかけとしたい。

1) 芸森スプリングフェスタ[令和3年4月29日(木・祝)～5月5日(水・祝)]

2) 芸森バースデー[令和3年7月24日(土)、25日(日)]

3) 芸森紅葉イベント(仮称)[令和3年10月16日(土)、17日(日)]

4) 雪あかりの祭典[令和4年1月29日(土)(予定)]

5) 謎解きイベント[令和3年4月～5月(予定)]

6) あしたのげいもり[令和3年9月下旬(予定)]

(3) 札幌市立大学・芸術の森地区連合町内会等との地域連携

連携協定を締結した芸術の森地区の近隣他施設との連携事業を実施し、市民交流活動の拠点としての役割を担う。

1) 札幌市立大学との事業連携、インターンシップ受け入れ

札幌市立大学と連携し、事業を行うほか、札幌駅前通地下歩行空間でのPR事業、また各施設や主催事業での学生のインターンシップ受け入れを行う。

2) シーニックバイウェイ

「札幌シーニックバイウェイ藻岩山麓・定山溪ルート」の南区施設間連携によるスタンプラリーに会場として参加し、芸術の森の魅力発信を行うとともに新規来園者増を図る。また地域で実施する真駒内から芸術の森までの国道453号線沿いの花壇作り活動に参加し、景観美化に努める。

3) 第26回芸術の森地区文化祭(再掲)

4) 第25回芸術の森地区音楽祭[令和3年11月6日(土)]

アートホールを会場として、芸術の森地域の音楽家や小中学校等の団体が出演する音楽祭を実施。地域の方々の音楽鑑賞と交流の機会を創出する。

5) 雪あかりの祭典(再掲)

(4) 各団体との事業提携

1) 他団体との連携による事業・広報

平成29年8月に締結した「札幌小樽 芸術文化・観光に関する連携協定」による芸術の森、ニトリ小樽芸術村、札幌観光協会、小樽観光協会のネットワークを生かした事業や広報を行う。

2) 各団体との連携事業

NoMaps実行委員会等と共催で、野外フェス「あしたのげいもり」を実施するほか、他団体との連携により施設を多角的に利用した事業を実施する。

(5) 環境負荷軽減のためのPR活動

環境負荷軽減のため白熱灯、蛍光灯のLED化等を進めるとともに施設としての環境配慮への取り組みをPRするほか、新型コロナウイルス感染を配慮しながらペレットストーブの活用など市民にわかりやすいかたちでPR活動を行う。

5 彫刻美術館事業(本郷新記念札幌彫刻美術館)

展覧会及び関連事業の開催を通じて、彫刻芸術を中心とした美術の普及、振興を図る。

(1) 展覧会事業

① 没後40年記念 本郷新・全部展②

若かりし頃に手がけたブロンズ彫刻に焦点を当て、ロダンや高村光太郎の影響下にあった作風から、独自の作風を確立するまでをたどる。また、約2年ぶりに再生、設置された野外彫刻《鳥の碑》のドキュメントも紹介する。

期 日：令和2年10月3日(土)～令和3年4月22日(木)167日間(内、令和3年度19日間)

会 場：記念館

② 本郷新・全部展③ 彫刻の設計図

本郷新の野外彫刻は全国におよそ100点が設置されている。本展では、それらの像が完成に至るまでに模索された貴重な設計図面やラフスケッチなどを紹介。野外彫刻に対する本郷の思念、思想を読み取る。

期 日：令和3年4月10日(土)～令和3年6月27日(日)68日間

会 場：本館

③本郷新・全部展④ 100の石膏像

館蔵石膏像364点の内、野外設置のための4m級の大型彫像から細やかな造形美に触れられる小像に至るまで100点を厳選して紹介。ブロンズ像の鑄造工程にあつて重要な役目を果たしながらもあまり語られることのない石膏原型像の魅力に迫る。

期 日：令和3年4月29日(木・祝)～令和4年4月10日(日)293日間(内、令和3年度284日間)

会 場：記念館

④開館40周年記念展 宮の森にある美術

新規

宮の森・円山地区を拠点に制作した美術家たちを紹介する展覧会。一方で、この地区に暮らす美術愛好家たちの蒐集品にも焦点を当てる。延いては、作り手側と受け手側とがそれぞれに築いたこの地域固有の美術文化史を紐解くことを試みる。

期 日：令和3年7月3日(土)～8月31日(火)51日間

会 場：本館

⑤本郷新・全部展⑤ 本郷新の言説

本郷新は、芸術論、作品論、風土論など数多くの文章を出版や手記を通じて遺している。本展では、それら言葉や思想をなぞっては、彫刻や絵画に立ち返り、言説と造形との関係を検証する。

期 日：令和3年12月11日(土)～令和4年4月10日(日)99日間(内、令和3年度90日間)

会 場：本館

⑥さっぽろ雪像彫刻展2022

さっぽろ雪像彫刻展実行委員会との共催で、市内の造形作家および美術・デザインを学ぶ学生が雪の彫刻作品を制作、展示する。

期 日：令和4年1月28日(金)～30日(日)

会 場：本館前庭

主 催：さっぽろ雪像彫刻展実行委員会、本郷新記念札幌彫刻美術館(札幌市芸術文化財団)

(2) 本郷新記念札幌彫刻賞

①第3回本郷新記念札幌彫刻賞受賞記念 高橋喜代史展 言葉は橋をかける

第3回同賞を受賞した高橋喜代史(1974-)は、異なる領域の橋渡しをするべく現代美術を手がける北海道出身の美術家。書道と漫画を造形の源泉とし、記号化された文字や言葉の多義性をテーマの軸に据えて表された立体、平面、パフォーマンスの数々を紹介する。

期 日：令和3年9月11日(土)～12月5日(日)74日間

会 場：本館

(3) 普及事業

①子どもの文化芸術体験事業「ハロー！ミュージアム」

子どもたちにすぐれた芸術に触れる機会を提供し、豊かな感性を育むことを目的に、札幌市の小学校5年生を美術館に招待する。各学校で事前学習を行ったのち、彫刻美術館の本館、記念館、庭園において鑑賞プログラムを実施する。

期 日：通年

②彫美連続講座2021

彫刻芸術への興味・関心を喚起し、理解を深めてもらうことを目的に、研究者や実作者を講師に招いた講座を全3回開講する。

期 日：年3回

会 場：札幌市民交流プラザSCARTSスタジオ、札幌市教育文化会館 ほか

③美術館めぐり

札幌芸術の森と連携し、札幌芸術の森美術館、札幌市民交流プラザ、札幌彫刻美術館をバスでめぐり、各展覧会担当者の解説とともに観覧する事業。

期 日：年2回

④造形教室

創作の楽しみを味わってもらうことを目的に、大人を対象とした「おとな造形教室」、小学生を主な対象とした「子ども造形教室」を実施。デッサンや造形等の楽しさを学ぶ機会をつくる。

期 日：年3回

(4)協力事業

①学校教育への協力

小学校における総合的な学習の時間や社会科等の授業、中学校における職場体験、大学での調査・研究、博物館実習の受け入れなど学校教育への協力を行う。

期 日：随時

②ボランティアの受け入れ

学校、団体、個人等のボランティア活動の受け入れ、対応を行う。

期 日：随時

(5)連携事業

①地域・企業との連携

展覧会、ミュージアムコンサート、サンクスデー等の事業において、地域や地元企業と広報や施設利用、人材提供等の面で連携を行う。

期 日：随時

(6)広報活動

①ホームページ、SNSの活用

展覧会等の事業の情報のほか、本郷新に関する情報を積極的に配信する。また、Twitter、Facebook、InstagramのSNSを活用し、こまめな情報発信によりPRを行う。

期 日：随時

②地域住民への情報提供

町内会や近隣小学校等への事業チラシ配布や、町内会だよりの活用により、地域住民への情報提供に努める。

期 日：通年

(7)利用促進

①サンクスデー

来館者への感謝として、開館記念日に近い日曜日と文化の日は観覧料を無料にし、来館促進を図るとともに、各種イベントを実施して、幅広い層に美術館を楽しんでもらう。

期 日：令和3年6月27日(日)、11月3日(水・祝)

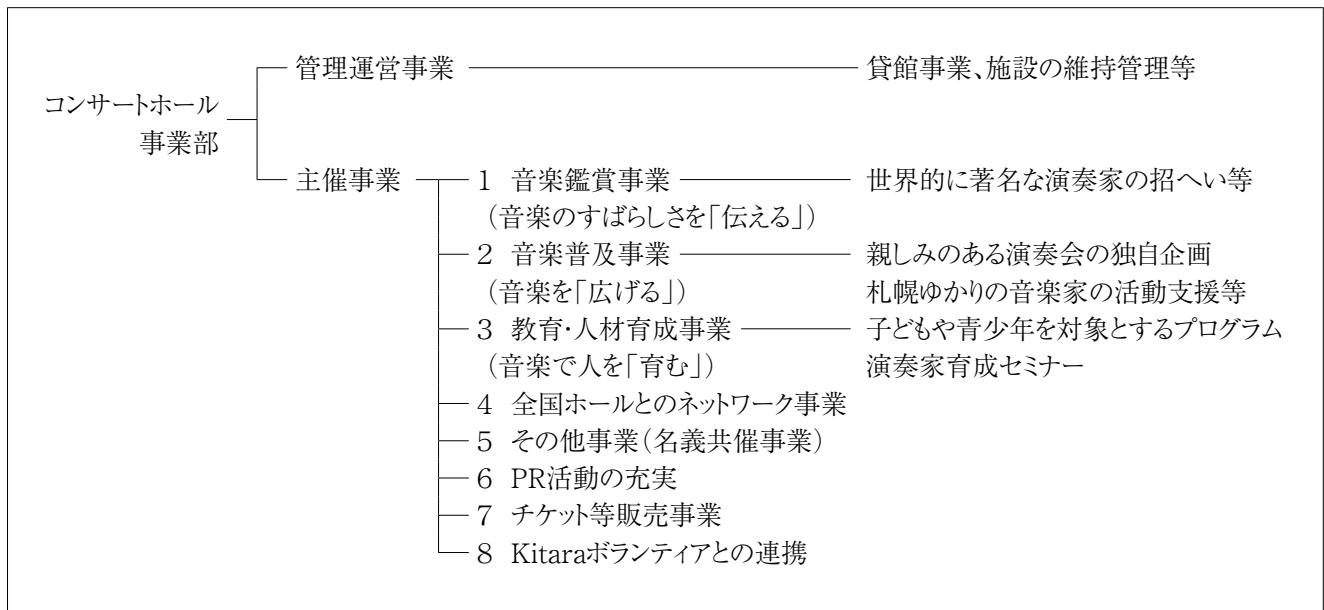
②グッズ販売

所蔵品ポストカード、過去図録、受託商品等を販売する。

期 日：通年

Ⅱ. コンサートホール事業部

1. 事業体系



2. 管理運営事業

利用状況		令和元年度実績	令和2年度実績 (令和2年11月1日まで)	令和3年度目標
大ホール	利用率	77.6%	45.2%	85.0%
小ホール	利用率	62.9%	27.0%	75.0%

総入場者数	301,666人	28,861人	296,000人
-------	----------	---------	----------

※札幌市による新型コロナウイルス感染症対策の一環により、令和2年4月14日～令和2年5月31日は全館貸出休止

※特定天井及び設備機器等の改修工事のため令和2年11月2日～令和3年6月30日は休館

【参考】

平成30年度全国公立文化施設平均稼働率

大ホール(1,000席以上)：60.4% 小ホール(500席未満)：65.7%

(出典 公益社団法人全国公立文化施設協会「令和元年度 劇場、音楽堂等の活動状況に関する調査研究報告書」)

3. 主催事業

1 音楽鑑賞事業

音楽専用ホールならではの優れた音響特性を活かし、市民のニーズの高い、海外・日本のトップクラスのオーケストラ、ソリスト、室内楽等による公演を企画し実施する。あわせて、全国のホールと連携し、魅力的な鑑賞事業の創造に取り組む。

(1) オーケストラ&合唱シリーズ

大ホールの音響特性を活かし、世界的に著名なオーケストラと合唱演奏の鑑賞機会を広く市民に提供する。

① 鈴木優人指揮 バッハ・コレギウム・ジャパン

新規

世界的に活躍する日本の古楽演奏団体のバッハ・コレギウム・ジャパンを招へいし、待降節やクリスマスにちなんだ札幌独自のプログラムを紹介する。

期 日：令和3年11月23日(火・祝)

会 場：大ホール

出 演：鈴木優人(指揮)

森麻季(ソプラノ)

アレクサンダー・チャンス(アルト)

櫻田亮(テノール)

ドミニク・ヴェルナー(バス)

バッハ・コレギウム・ジャパン(管弦楽・合唱)

(2) ソリストシリーズ

器楽の著名な演奏者(ソリスト)を招へいし、〈Kitaraワールドソリストシリーズ〉として名演奏を広く市民に紹介する。

① カニサレス ギターリサイタル

新規

フラメンコ・ギターの枠を超えクラシック界でも活躍を続けるスペイン出身で世界最高峰ギタリスト カニサレスがKitaraに初登場する。カニサレスが自ら編曲した「アランフェス協奏曲」のほか、ファリャやスカルラッティ、フラメンコの楽曲を紹介する。

期 日：令和3年8月9日(月・休)

会 場：小ホール

出 演：カニサレス(ギター)

フアン・カルロス・ゴメス(セカンド・ギター)

② 神尾真由子&ミロスラフ・クルティシエフ デュオ・リサイタル

新規

突出した人気と実力を誇る世界的ヴァイオリニスト 神尾真由子と、公私ともにパートナーであるピアニスト ミロスラフ・クルティシエフ。チャイコフスキーコンクール覇者である二人の極上の演奏をお届けする。

期 日：令和3年11月19日(金)

会 場：大ホール

出 演：神尾真由子(ヴァイオリン)

ミロスラフ・クルティシエフ(ピアノ)

(3) 室内楽シリーズ

室内楽で著名な演奏家を招へいし、小ホールの音響特性を活かした公演を実施する。室内楽の多彩な魅力を広く市民に紹介する。

①〈Kitara・アクロス福岡連携事業〉安永徹&市野あゆみ～札幌・九響の室内楽

新規

長年交流のあるアクロス福岡と連携し、安永徹・市野あゆみ両氏ゆかりの地である福岡と北海道で、地元のオーケストラメンバーと共にアンサンブルの魅力をお届けする。

期 日：令和3年9月18日(土)

会 場：小ホール

出 演：市野あゆみ(ピアノ)

安永徹(ヴァイオリン)

山下大樹(九州交響楽団第2ヴァイオリン首席)

廣狩亮(札幌交響楽団ヴィオラ首席)

石川祐支(札幌交響楽団チェロ首席)

②ハンガリーの俊英たち ゲルゲイ・デヴィッチ チェロリサイタル

新規

弱冠22歳、リスト音楽院チェロ科教授ヤーノシュ・デヴィッチの孫にあたり、10代から現地で数々の共演やリサイタル開催を果たすなど、注目と期待が集まる若手チェリスト。日本国内でのリサイタルとしての招へいは、札幌の本公演が初となる。

期 日：令和4年2月19日(土)

会 場：小ホール

出 演：ゲルゲイ・デヴィッチ(チェロ) ほか

2 音楽普及事業

札幌の貴重な音楽財産である札幌交響楽団、専属オルガニスト、地元の演奏家との協力により、市民が気軽に楽しめるコンサートや事業を実施し、音楽の普及を図る。

(1) オルガン事業

国内最大級のパイプオルガンと専属オルガニスト制度を活用し、さまざまな企画のコンサートを行う。

①オルガンワンコインコンサート

ワンコイン(500円)で気軽に楽しめるオルガンコンサート

1) オルガンウィンターコンサート

雪まつり期間中に実施するオルガン名曲コンサート

期 日：令和4年2月11日(金・祝)

会 場：大ホール

出 演：第22代札幌コンサートホール専属オルガニスト

②オルガンコンサートシリーズ

1) 新生! プロジェクションマッピング×オルガン スター・ウォーズ

新規

令和元年度に実施し好評を得たオルガンとプロジェクション・マッピングのコラボレーション企画を、ザ・シンフォニーホールの特別協力を得て実施する。公演前にはバックステージツアーを開催予定。5歳以上入場可能。

期 日：令和3年8月20日(金)

会 場：大ホール

出 演：大木麻理(オルガン)

2) 第22代札幌コンサートホール専属オルガニスト デビューリサイタル

第22代札幌コンサートホール専属オルガニストのデビューコンサートを開催する。

期 日：令和3年10月2日(土)

会 場：大ホール

出 演：第22代札幌コンサートホール専属オルガニスト

3) クリスマスオルガンコンサート

パイプオルガンと高校生の合唱の共演によりクリスマスにちなんだ楽曲のコンサートを開催する。ミュンヘンクリスマス市と協力し相互PRも行う。

期 日：令和3年12月18日(土)

会 場：大ホール

出 演：第22代札幌コンサートホール専属オルガニスト

大木秀一(指揮)

市立札幌旭丘高等学校合唱部

札幌山の手高等学校合唱部

4) オルガンCD制作

第22代札幌コンサートホール専属オルガニストによる大ホールパイプオルガンの演奏を録音。広くオルガン音楽を紹介するとともに、コンサートホールやオルガニストのPRとして活用する。

(2) Kitara札幌シリーズ

札幌交響楽団によるクリスマスコンサート、ニューイヤーコンサートなどの公演を開催し、音楽の普及振興を図る。

①〈Kitaraリニューアル・オープン記念〉Kitaraのバースデー～札幌 with 安永徹&市野あゆみ

長年Kitaraでデュオや室内楽のコンサートを行い、Kitaraのアソシエイト・アーティストでもある安永徹をコンサートマスター、ソリストに市野あゆみを迎え、Kitaraの開館記念日とリニューアル・オープンを祝うコンサートとする。

期 日：令和3年7月4日(日)

会 場：大ホール

出 演：安永徹(コンサートマスター)

市野あゆみ(ピアノ)

札幌交響楽団(管弦楽)

②Kitaraのクリスマス Elegant & Groovy!

目覚ましい活躍を続ける若手指揮者 原田慶太楼と、現在最も人気・実力のあるサクソフォン奏者の一人、上野耕平を起用。「くるみ割り人形」をはじめ、クリスマスにちなんだ楽曲をクラシック、ジャズ両方の側面から紹介する。

期 日：令和3年12月25日(土)

会 場：大ホール

出 演：原田慶太楼(指揮)

上野耕平(サクソフォン)

札幌交響楽団(管弦楽)

③Kitaraのニューイヤー

ブザンソン国際指揮者コンクールで聴衆賞およびオーケストラ賞の最優秀賞を受賞し、欧州デビューを果たした齋藤友香理を指揮者に迎え、歌手との共演による新年の幕明けにふさわしいプログラムをお届けする。

期 日：令和4年1月8日(土)

会 場：大ホール

出 演：齋藤友香理(指揮)
富平安希子(ソプラノ)
宮里直樹(テノール)
札幌交響楽団(管弦楽)

(3) 地元音楽家・音楽団体との活動支援・連携シリーズ

札幌市内で活動する演奏家、作曲家、音楽団体とともに、札幌独自の音楽公演事業を行う。魅力的な企画により、地元演奏家のさらなるレベルアップと聴衆づくりを目指す。

①〈Kitaraリニューアル・オープン記念〉Kitaraのバースデー～札幌 with 安永徹&市野あゆみ(再掲)

②〈Kitara・アクロス福岡連携事業〉安永徹&市野あゆみ～札幌・札幌の室内楽(再掲)

③〈北海道教育大学・札幌大谷大学・Kitara連携事業〉若い芽の音楽会～北国を翔ける新星 **新規**

改修工事によるKitara休館のためゴールデンウィークの「Kitaraあ・ら・かると」が開催できないことから、「若い芽の音楽会」を10月に開催する。若手演奏家の出演の機会をたやさぬよう、新型コロナウイルス感染拡大により中止となった令和2年度「若い芽の音楽会」の出演者も参加する。

期 日：令和3年10月16日(土)

会 場：小ホール

出 演：令和2年度、令和3年度に推薦を受けた北海道教育大学、札幌大谷大学の卒業生・在校生

④令和3年度Kitaraアーティスト・サポートプログラム

市内音楽家から創意工夫に富む意欲的な企画を公募し、会場費補助と広報の支援を行う。

期 日：令和4年1月27日(木)

令和4年3月14日(月)

会 場：小ホール

出 演：札幌で活躍する音楽家(個人、団体)

(4) Kitaraランチタイムコンサート

音楽の多彩な魅力を紹介するため、開催時間や内容を工夫し、親しみやすいランチタイムコンサートを開催する。

①ワーヘリ ユーフォニアム×テューバの魅力 **新規**

ユーフォニアム界のトッププレイヤー外圍祥一郎と読売日本交響楽団首席テューバ奏者の次田心平によるコンサート。終演後にトーク付き楽器クリニックを小ホールにて開催。

期 日：令和3年10月30日(土)

会 場：小ホール

出 演：外圍祥一郎(ユーフォニアム)
次田心平(テューバ)
松本望(ピアノ)

- ②Kitaraバロック・アンサンブルシリーズ〜トリオ・ソナタで彩る午後アフタヌーン **新規**
古楽界の第一線で活躍する長岡聡季(北海道教育大学岩見沢校准教授)を主軸にKitara独自のアンサンブルを編成、出演者によるお話を交え、きがるかつ本格的な古楽アンサンブルの魅力を紹介する。
期 日：令和3年11月6日(土)
会 場：小ホール
出 演：長岡聡季(バロック・ヴァイオリン)
北川森央(フラウト・トラヴェルソ)
平野智美(チェンバロ)
櫻井茂(ヴィオラ・ダ・ガンバ)

- ③筑前琵琶で言祝ぐはつ春 **新規**
現在も活動する琵琶演奏家のなかでは唯一の人間国宝(重要無形文化財保持者)の法和院 奥村旭翠を独自招へいし、市民に邦楽の魅力を発信する。
期 日：令和4年1月15日(土)
会 場：小ホール
出 演：法和院 奥村旭翠<人間国宝>(筑前琵琶)
尾藤弥生<北海道教育大学教授>(プレトーク)

- ④金子三勇士のきがるにクラシック **新規**
11歳からハンガリーのリスト音楽院で学び、数多くの国際的な指揮者と共演、ラジオや映像作品の劇伴などでも活躍する期待の若手ピアニスト、金子三勇士による札幌初のピアノリサイタルを開催する。
期 日：令和4年1月23日(日)
会 場：大ホール
出 演：金子三勇士(ピアノ)

(5)その他

- ①演奏付き防災訓練
より安全なホール運営を行うため、市民に来場者として参加していただく防災訓練を実施する。
期 日：令和4年1月
協 力：札幌市消防音楽隊

- ②札幌コンサートホール施設見学会
コンサートホールのPR及びKitaraファン拡大のため施設見学会を実施する。また、普段立ち入ることのできないステージ裏や楽屋などをKitaraボランティアと一緒に紹介する。
期 日：令和3年7月～令和4年3月 2～3回開催

- ③ゆきあかり in 中島公園
さっぽろ雪まつり期間中に、中島公園を中心とした地域の風物詩を作り上げることを目的として、近隣の施設・住民と協力しながら公園内を雪と灯(あかり)で彩る「ゆきあかりin中島公園」を実施する。
期 日：令和4年2月
会 場：中島公園及び周辺
主 催：ゆきあかりin中島公園実行委員会
札幌コンサートホール(札幌市芸術文化財団)、公益財団法人札幌市公園緑化協会、豊水地区連合町内会 ほか

3 教育・人材育成事業

音楽の力で子どもや青少年の感性を育むエデュケーションプログラムを実施するとともに、ホールの機能を生かし、世界トップレベルの音楽セミナーやオルガンセミナーの開催により演奏家や指導者の育成に努める。

(1) エデュケーションプログラム

① Kitaraファースト・コンサート

札幌市教育委員会と連携して行う札幌市補助事業。札幌市内の他、近郊7市町村の小学生あわせて約19,000人を無料招待する。より多くの子どもたちに、オーケストラとオルガンの名曲を鑑賞する機会を提供する。

期 日：令和3年9月27日(月)、28日(火)、29日(水)、11月29日(月)、30日(火)、12月1日(水)

会 場：大ホール

出 演：松本宗利音(指揮)

マティアス・バーメルト(指揮)

札幌交響楽団(管弦楽)

第22代札幌コンサートホール専属オルガニスト(オルガン) ほか

② ひろがる! つたわる! オルガンのひびき

小学校1～4年生を対象とし、音楽の授業では体験しないような音楽の聴き方、楽しみ方を体験することをおして、“音楽を聴くための身体づくり”を目指す音楽ワークショップを開催する。

期 日：令和4年1月22日(土)

会 場：大ホール、大リハーサル室

出 演：吉村怜子(オルガン)

山田美穂(ナビゲーター)

(2) アウトリーチ事業

① 専属オルガニストによるオルガンアウトリーチ等

札幌市「学校DEカルチャー」の一環として、専属オルガニストが移動可能なポジティブオルガンとともに市内小学校等へ赴き、オルガン音楽の魅力を紹介するお出かけコンサートを開催する。

期 日：令和3年10月～令和4年3月(調整中)

会 場：市内小学校

出演者：第22代札幌コンサートホール専属オルガニスト(オルガン)

吉村怜子(お話)

(3) セミナー事業

世界的音楽教育機関や音楽祭、地元音楽大学等と連携し、講習会や演奏会を開催する。

① 第24回リスト音楽院セミナー

世界的音楽教育機関であるリスト音楽院より教授を招へいしセミナーと演奏会を行う。

期 日：令和4年2月23日(水・祝)～27日(日)

会 場：小ホール、リハーサル室、札幌大谷大学大谷記念ホール

主 催：札幌コンサートホール(札幌市芸術文化財団)、リスト音楽院セミナー実行委員会(音楽大学教授ほか)

後 援：駐日ハンガリー大使館、(株)河合楽器製作所 北海道支店、日本ハンガリー友好協会

協 力：株式会社ヤマハミュージッククリエティング 札幌店

講 師：イシュトヴァーン・ラントシュ(ピアノ) ほか

1) ハンガリーの俊英たち ゲルゲイ・デヴィッチ チェロリサイタル(再掲)

2) 第24回リスト音楽院セミナー講師による特別コンサート

リスト音楽院講師として招へいするリスト音楽院教授によるリサイタル。「講師による特別コンサート」として実施する。

期 日：令和4年2月23日(水・祝)

会 場：小ホール

出演者：リスト音楽院セミナー講師

3) 歴代最優秀受講生によるランチタイムコンサート

過去のセミナーで最優秀受講生に選ばれた若手演奏家を紹介する。受講生との交流の場も設ける。

期 日：令和4年2月24日(木)

会 場：小ホール

受講生：過去の最優秀受講生

4) 特別レクチャー&公開レッスン

セミナーで招へいしたリスト音楽院教授によるレクチャーと北海道教育大学、札幌大谷大学学生への公開レッスンをあわせて行う。

期 日：令和4年2月26日(土)

会 場：札幌大谷大学大谷記念ホール(予定)

受講生：北海道教育大学学生、札幌大谷大学学生

講 師：リスト音楽院セミナー講師

5) 受講生コンサート

セミナー受講生の中から選ばれた優秀者によるコンサートを実施する。最優秀受講生を選考し、翌年のブダペスト・スプリング・フェスティバルに派遣する。

期 日：令和4年2月27日(日)

会 場：小ホール

出 演：第23回リスト音楽院セミナー最優秀受講生 水野魁政(ピアノ)
第24回リスト音楽院セミナー優秀受講生6～8名

(4) 北海道教育大学岩見沢校、札幌大谷大学連携事業

連携協定を締結している音楽学部を設置している地元大学と未来の音楽家を志す学生の活動を支援し広く市民に紹介する。

①若い芽の音楽会～北国を翔ける新星(再掲)

②ひろがる!つたわる!オルガンのひびき(再掲)

③リスト音楽院セミナー 特別レクチャー&公開レッスン(再掲)

(5) PMF共催事業

世界の若手音楽家を育てるパシフィック・ミュージック・フェスティバル(PMF)の趣旨に賛同し、共催事業を行う。

期 日：令和3年7月

4 全国ホールとのネットワーク事業

(1) ホール・他都市連携事業

- ① 新生! プロジェクションマッピング×オルガン スター・ウォーズ (再掲)
- ② 〈Kitara・アクロス福岡連携事業〉安永徹&市野あゆみ〜札幌・九響の室内楽(再掲)
- ③ ワーヘリ ユーフォニアム×チューバの魅力(再掲)

(2) 札幌コンサートホールが招聘する音楽家を広く他都市に紹介する

① 専属オルガニストによる公演

1) ザ・シンフォニーホール クリスマスオルガンコンサート

期 日：令和3年12月11日(土)又は25日(土)(調整中)

会 場：ザ・シンフォニーホール(大阪市)

主 催：株式会社ザ・シンフォニーホール

出 演：第22代札幌コンサートホール専属オルガニスト

(3) 国内ホールと広く情報交換を行う。また、共同で音楽家の招へいや公演制作を行う。

① コンサートホール企画連絡会議(道外)

参加館：すみだトリフォニーホール、京都コンサートホール、アクロス福岡、所沢ミュージズ、新潟市民芸術文化会館(りゅーとびあ)、札幌コンサートホール

期 日：令和3年7月、令和4年2月(予定)

5 その他事業

(1) 名義共催事業

① 札幌音楽家協議会60周年記念コンサート

新規

札幌音楽家協議会の60周年を記念するコンサートを開催する。

期 日：令和4年3月19日(土)

会 場：大ホール

主 催：札幌音楽家協議会

共 催：札幌コンサートホール(札幌市芸術文化財団)

出 演：札幌音楽家協議会室内オーケストラ

6 PR活動の充実

(1) 広報活動

札幌コンサートホールを広く周知するため、様々な媒体により積極的な活動を行う。

- ① 公演情報誌「KitaraNEWS」の発行
- ② ホームページ、Twitter、Instagram、ラジオ等のソーシャルメディアやマスメディアによる情報提供
- ③ 音楽専門誌、タウン情報誌、フリーペーパー等への広告掲載
- ④ 地下鉄駅構内電照広告の掲出
- ⑤ 通行量が多い公共空間(地下歩行空間等)への広告掲出
- ⑥ ホールスポンサーの獲得
- ⑦ Kitaraギャラリーでのホール資料や收藏品展示によるホールの魅力紹介
- ⑧ 観光客の誘致、旅行・タクシー会社、ホテルとの連携強化
- ⑨ オリジナルグッズの制作、販売
- ⑩ 各種団体会員へのチケット販売(札幌市労連共済センター、札幌商工会議所、札幌市中小企業共済センター ほか)
- ⑪ 全国音楽ホール、音楽事務所、札幌市内公共施設、地下鉄主要駅、ホテル、病院、飲食店等へのポスター、チラシ、KitaraNEWS等の送付
- ⑫ 無料会員制度のリニューアルによるチケット販売促進、広報の強化

新規

(2) ファン育成事業(0歳からのコンサート)

新規

コンサートに訪れる機会の少ない親子層(未就学児とその保護者)やクラシック初心者でも楽しめる内容のコンサートを企画し、クラシックファンを増やすとともに、コンサートホールに気軽に足を運んでもらうきっかけづくりとなる事業を行う。

期 日：令和3年12月3日(金)

会 場：大ホール

7 チケット等販売事業

札幌コンサートホールで行われるチケットの対面販売、電話予約販売のほか、インターネット販売を行い、購入しやすい環境を整える。

8 Kitaraボランティアとの連携

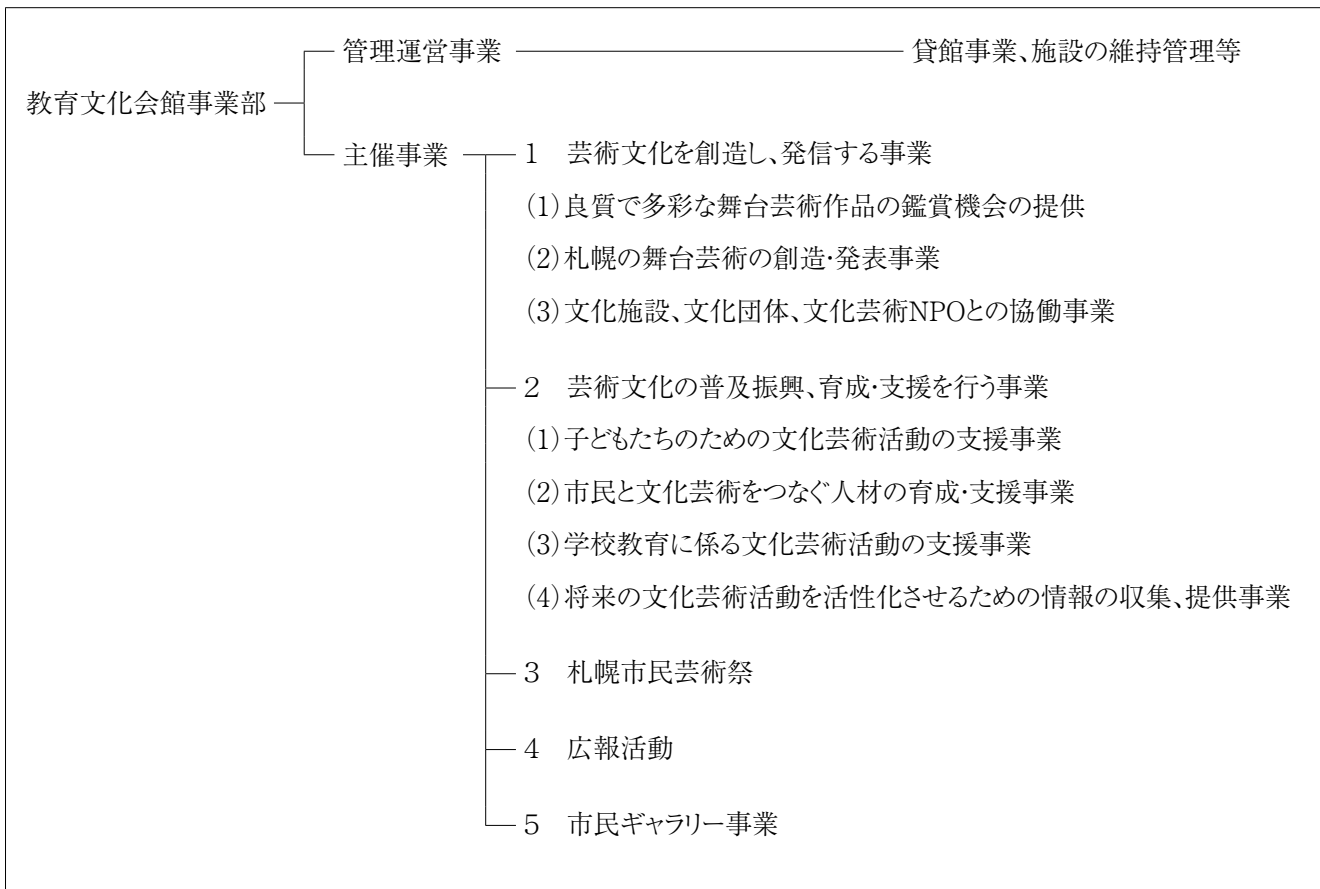
札幌コンサートホールの支援組織である「Kitaraボランティア」との連携により主催事業等の充実を図る。

人数：84名(令和2年12月現在)

- (1)ホール見学案内
- (2)Kitaraギャラリー運営補助
- (3)主催事業補助(リスト音楽院セミナー ほか)
- (4)専属オルガニストサポート(日本語レッスン、日本文化の紹介、交流等)
- (5)音楽情報誌「シンフォニア」の編集・発行

Ⅲ. 教育文化会館事業部

1. 事業体系



2. 管理運営事業

			令和元年度実績	令和2年度見込	令和3年度目標
利用状況	札幌市教育文化会館	大ホール 利用率	70.4%	26.0%	80.0%
		小ホール 利用率	79.3%	34.0%	80.0%
		総入場者数	539,904人	92,000人	580,000人
	市民ギャラリー	展示室(第1～第5展示室) 利用率	80.1%	38.0%	85.0%
		総入場者数	115,454人	26,000人	135,000人

※札幌市による新型コロナウイルス感染症対策の一環により、令和2年4月14日～令和2年5月31日は全館貸出休止
 札幌市教育文化会館リハーサル室A等7室については、令和2年6月18日まで貸出休止を継続

【参考】

平成30年度全国公立文化施設平均稼働率

大ホール(1,000席以上)：60.4% 小ホール(500席未満)：65.7%

(出典 公益社団法人全国公立文化施設協会「令和元年度 劇場、音楽堂等の活動状況に関する調査研究報告書」)

3. 主催事業

1 芸術文化を創造し、発信する事業

(1) 良質で多彩な舞台芸術作品の鑑賞機会の提供

先進的な舞台芸術作品、次世代へ伝えてゆくべき伝統芸能の両面から、札幌市教育文化会館の有する舞台機構を最大限に活かした質の高い舞台芸術作品を上演する。上演にあわせ、舞台作品への理解を深めるためのレクチャー等を実施するなど鑑賞者の拡大を図る。

① 能楽なう

京都芸術センターとの共同企画として能楽を上演し、市内では鑑賞機会の少ない伝統芸能を紹介する。

期 日：令和3年9月8日(水)

会 場：大ホール(能舞台)

演 目：能 宝生流「巻絹」

能 観世流「葵上」

狂言 大蔵流「素袍落」

企画制作：京都芸術センター(公益財団法人京都市芸術文化協会)

② 人形浄瑠璃文楽

日本の代表的な伝統芸能で、ユネスコ無形文化遺産にも指定されている文楽を市民に紹介する。

期 日：令和3年10月4日(月)2回公演

会 場：大ホール

演 目：昼の部「一谷嫩軍記」熊谷桜の段 熊谷陣屋の段

夜の部「曾根崎心中」生玉社前の段 天満屋の段 天神森の段

制 作：公益財団法人文楽協会

③ 演劇公演「グッドピープル」

新規

鶴山仁演出、戸田恵子主演によるアメリカの格差社会をテーマとした「グッドピープル」を上演する。

期 日：令和3年10月19日(火)

会 場：大ホール

演 出：鶴山仁

出 演：戸田恵子、長谷川初範 ほか

共 催：一般社団法人舞台芸術共同企画

(2) 札幌の舞台芸術の創造・発表事業

札幌独自の舞台芸術作品の創造や、地元の舞台芸術創作活動を普及するための事業を行う。

① 教文演劇フェスティバル2021

地元演劇関係者との協力により、教文短編演劇祭を中心に、演劇関連のワークショップ等を行い、札幌の演劇シーンの活性化に努める。

期 日：令和4年3月1日(火)～5日(土)

会 場：大ホール

主 催：札幌市教育文化会館(札幌市芸術文化財団)、教文演劇フェスティバル事務局

②教文オペラ

市内オペラ団体等と協力し、オペラ公演、コンサート、小・中学校を対象としたお届けコンサートや親子向けオペラコンサートを開催し、オペラの普及振興を図る。

期 日：令和3年6月～令和4年3月

会 場：大ホール、小ホール

(3)文化施設、文化団体、文化芸術NPOとの協働事業

①能楽鑑賞のひとつき

札幌の能楽愛好団体による能の発表会を行う。

期 日：令和3年11月17日(水)

会 場：大ホール(能舞台)

主 催：札幌能楽会

共 催：札幌市教育文化会館(札幌市芸術文化財団)

②演劇シーズン-冬

過去に好評を得た作品を、札幌市内の複数の劇場で約1か月の長期上演行うにあたり、会場のひとつとして実施する。

期 日：令和4年1月28日(金)～2月6日(日)

会 場：小ホール

主 催：札幌市教育文化会館(札幌市芸術文化財団)、札幌演劇シーズン実行委員会、演劇創造都市プロジェクト、NPO法人コンカリーニョ、北海道演劇財団、札幌市

③人形劇フェスティバル2022-さっぽろ冬の祭典-

市内の人形劇サークルの合同公演を札幌人形劇協議会、公益財団法人さっぽろ青少年女性活動協会と共催する。人形劇の魅力を広く市民に紹介するとともに、札幌における人形劇の普及・発展のため、市内の人形劇サークルが合同で大作を上演する。

期 日：令和4年2月11日(金・祝)、12日(土)

会 場：小ホール

主 催：札幌人形劇協議会

共 催：札幌市教育文化会館(札幌市芸術文化財団)、公益財団法人さっぽろ青少年女性活動協会

後 援：札幌市PTA協議会、札幌市小学校長会 ほか

④子ども舞踊祭 Junior Festival

市内の青少年と舞踊指導者の育成及び成果発表の場として児童・生徒約300人が出演するクラシックバレエ、現代舞踊の公演を札幌洋舞連盟と共催し、実施する。

期 日：令和4年3月25日(金)

会 場：大ホール

主 催：札幌洋舞連盟

共 催：札幌市教育文化会館(札幌市芸術文化財団)

2 芸術文化の普及振興、育成・支援を行う事業

(1) 子どもたちのための文化芸術活動の支援事業

若年層を対象に、舞台芸術との出会いとなるワークショップを開催する。舞台芸術の制作を、現場に関わるスタッフからの指導を通して行うことで、将来の舞台芸術の表現者・愛好者を育成する。

①子ども演劇ワークショップ

公募による子どもの出演者が、大人の演劇関係者ととともにワークショップに参加し、発表公演を行う。講師・スタッフには札幌市内の舞台芸術人材を活用する。

期 日：令和3年12月～令和4年3月21日(月・祝)

会 場：小ホール、研修室 ほか

演出・指導：納谷真大(ELEVEN NINES)

②小・中学生のための能楽入門

小・中学生向けに能楽体験ワークショップを行い、若年層への伝統芸能の理解と普及につなげる。

期 日：令和3年7月29日(木)～31日(土)

会 場：研修室

講 師：小倉健太郎(能楽師、シテ方宝生流)

協 力：札幌宝生会

③夏休み子ども体験新喜劇

放送作家の砂川一茂を講師に迎え、子ども向け「体験新喜劇」ワークショップを行う。笑いのテクニックや新喜劇の面白さを体験し、最終日にミニ喜劇の発表を行う。

期 日：令和3年8月1日(日)～8月3日(火)

会 場：研修室

講 師：砂川一茂(放送作家)

④子どものためのオペレッタワークショップ

子どもの保護者等で構成される「子どものためのオペレッタワークショップ実行委員会」が運営するオペレッタワークショップを側面から支援する。

期 日：令和3年9月～12月26日(日)

会 場：大ホール、リハーサル室 ほか

主 催：子どものためのオペレッタワークショップ実行委員会

共 催：札幌市教育文化会館(札幌市芸術文化財団)

(2) 市民と文化芸術をつなぐ人材の育成・支援事業

市民を対象としたワークショップとその成果としての実演を通して、参加者が新しい創造活動と出会いを経験する。

①教文13丁目笑劇一座

一般公募の市民によって構成された喜劇団の活動を継続する。団員自ら喜劇を創作・稽古し、市内各所や高齢者施設などで無料ライブやお笑い出張公演を行い、市民が中心となって笑いの輪を広げる活動を行う。

期 日：通年

会 場：リハーサル室 ほか

②教文ダンスワークショップ

市民参加型のダンスワークショップ及びセミナーを開催する。

期 日：令和3年12月4日(土)、5日(日)

会 場：小ホール

講 師：高橋竜太(振付家、ダンサー) ほか

③子ども演劇ワークショップ(再掲)

(3) 学校教育に係る文化芸術活動の支援事業

舞台芸術活動の将来を担う小・中・高校生の学校教育に係る文化活動を支援し、発表の場を提供するとともに、演劇上演のためのアドバイス、技術指導を行う。

①第39回札幌市小学校児童音楽祭

札幌市の小学校における豊かな音楽活動の発展と児童の音楽を愛好する心情の育成を目的に開催する合唱と器楽の演奏会を支援する。

期 日：令和4年2月5日(土)

会 場：大ホール

主 催：北海道音楽教育連盟札幌市小学校支部、札幌市教育文化会館(札幌市芸術文化財団)

協 賛：一般財団法人札幌市教育協会

後 援：札幌市小学校長会、北海道音楽教育連盟

②第73回札幌市中学校音楽会

音楽活動の将来を担う中学生の育成を目的とした演奏会を支援する。各地区から選抜された出演校が、合唱、吹奏楽などの分野に分かれて日頃の成果を発表する。

期 日：令和3年10月31日(日)

会 場：大ホール

主 催：札幌市中学校文化連盟、札幌市教育文化会館(札幌市芸術文化財団)

後 援：札幌市中学校長会、札幌市中学校吹奏楽研究協議会、札幌市合唱教育研究会 ほか

③第67回高文連石狩支部演奏会

他校生徒との交流を深め、技術の向上を目指して開催する演奏会を支援する。高文連石狩支部加盟の合唱・吹奏楽・器楽管弦楽・日本音楽の4部門の参加校が日頃の成果を発表するほか、合唱、吹奏楽部門でそれぞれ合同演奏を行う。審査により全道大会出場校を推薦する。

期 日：令和3年6月17日(木)、18日(金)

会 場：大ホール

主 催：北海道高等学校文化連盟石狩支部音楽専門部

共 催：札幌市教育文化会館(札幌市芸術文化財団)

④中文連演劇ワークショップ2021

札幌市内中学校の演劇部員を対象に、演劇についての知識や表現力を磨く演劇ワークショップの開催を支援する。

期 日：令和3年5月22日(土)

会 場：小ホール、リハーサル室 ほか

主 催：札幌市中文連演劇専門委員会、札幌市教育文化会館(札幌市芸術文化財団)

後 援：札幌市中学校長会、札幌市PTA協議会、一般財団法人北海道教育文化協会

講 師：札幌市内中学校教諭 ほか

⑤第36回札幌市中文連演劇発表会

学校教育における芸術・文化活動を奨励する教育普及活動として中文連の演劇発表会を支援する。市内中学校の演劇部が日頃の成果を発表し、最優秀校2校が全道大会に出場する。

期 日：令和3年8月1日(日)～4日(水)

会 場：小ホール

主 催：札幌市中学校文化連盟、札幌市教育委員会、札幌市教育文化会館(札幌市芸術文化財団)

後 援：札幌市中学校長会、札幌市PTA協議会、一般財団法人北海道教育文化協会

⑥第71回高文連石狩支部高校演劇発表大会

高文連石狩支部の加盟各校が参加する演劇発表大会を支援する。最優秀・優秀・優良・努力各賞及び創作脚本奨励賞を選考する。最優秀校は、全道演劇発表大会に出場する。

期 日：令和3年9月30日(木)～10月7日(木)

会 場：小ホール

主 催：北海道高等学校文化連盟石狩支部演劇専門部

共 催：札幌市教育文化会館(札幌市芸術文化財団)

⑦第16回北海道中学生演劇発表大会

北海道内各地区から選出された中学校が、日頃の演劇活動の成果を発表する全道大会を支援する。最優秀1校、優秀2校を選考する。最優秀校は北海道代表として全国大会へ出場する。

期 日：令和3年11月27日(土)、28日(日)

会 場：小ホール

主 催：北海道中学生演劇発表大会実行委員会

共 催：札幌市教育文化会館(札幌市芸術文化財団)

後 援：北海道中学校長会、札幌市中学校長会、札幌市中学校文化連盟 ほか

(4) 将来の文化芸術活動を活性化させるための情報の収集、提供事業

①公立文化施設等とのネットワーク

- ・公立文化施設との情報の交換、収集を行い、事業に反映させる。
- ・一般財団法人地域創造、文化庁等を通して情報収集を行う。
- ・札幌市内9劇場による「札幌劇場連絡会」間での情報交換を行い、札幌市が主催する「札幌アーツステージ」の舞台芸術部門に参加する。

②実演家などの専門家との交流やメディアの活用

- ・主催事業を通して長年培われた芸術文化団体、アーティストなどとの交流により、各分野の情報を収集し、事業企画に反映させる。
- ・地元マスコミも含め、メディアを通して最新情報の収集に努め、国内外の実情を把握する。

③アンケートの実施

主催事業の参加者、来場者に対しアンケートを実施し、催しに対する満足度を調査するとともにニーズを把握し、企画に反映させる。

3 札幌市民芸術祭

音楽、演劇、舞踊、美術、文芸など幅広い分野における市民の創造・発表活動を積極的に推進し、札幌市の文化芸術活動の振興を図ることを目的に、年間10事業を実施する。優れた作品発表に対して札幌市民芸術祭大賞、札幌市民芸術祭奨励賞を贈呈。札幌市長が委嘱する市内の芸術・文化関係者100名以上による10部会で実行委員会を構成し、教育文化会館事業部に事務局を置く。

主 催：札幌市民芸術祭実行委員会、札幌市、札幌市芸術文化財団

①札幌市民劇場

札幌を拠点に、音楽、舞踊、演劇、伝統芸能などの舞台芸術活動を行う個人または団体の公演やワークショップ事業の企画を公募し、「札幌市民劇場」として年間を通し開催する。企画採用団体には、助成金の交付、広報協力などを行い、市民の芸術活動を支援する。

期 日：通年

会 場：札幌市内各会場

②マンドリン音楽祭

札幌市内で活動するマンドリン団体が会し、日頃の成果を披露する演奏会を開催する。独奏・重奏の部、学生団体合同合奏の部、学生団体・社会人団体合同合奏の部の3部構成でプログラムを展開する。開演前のプレコンサートや楽器展示も行い、マンドリンの魅力を市民に紹介する。

期 日：令和3年5月30日(日)

会 場：大ホール

③ギター音楽祭

オーディションにより選抜されたクラシックギタリストが競演する演奏会を開催する。独奏、重奏、合奏の3部門で、小学生から一般まで幅広い年齢の市民が参加する。来場者の関心を高めるため、ゲストによる演奏や開演前のプレコンサートを併せて行う。

期 日：オーディション 令和3年7月11日(日)

演奏会 令和3年9月5日(日)

会 場：大ホール

④市民合唱祭

「秋の合唱祭」として親しまれ、毎年120団体以上、約3,000人の出演者が集う演奏会を開催する。第1部を一般・職場・学生などのグループ、第2部をPTAなどのグループとして2日間開催する。

期 日：第2部 令和3年10月16日(土)

第1部 令和3年10月17日(日)

会 場：大ホール

⑤さっぽろ市民文芸

随筆、小説、詩、評論、短歌、俳句、川柳、児童文学、戯曲・脚本の9部門を対象に市民の文芸作品を公募し、総合文芸誌「さっぽろ市民文芸」として刊行する。併せて、優秀作品の表彰や記念講演のほか、作品選考委員と参加者が交流を深める「さっぽろ市民文芸の集い」を開催する。

期 日：「さっぽろ市民文芸」第38号刊行 令和3年10月下旬

さっぽろ市民文芸の集い 令和3年11月27日(土)

会 場：各研修室(さっぽろ市民文芸の集い)

⑥新人音楽会

札幌市を中心に音楽活動を行い、活躍が期待される若手のクラシック音楽家を対象に、ピアノ、声楽、管弦打楽器、作曲の4部門でオーディションを行い、選抜者による演奏会を開催する。また、来場者投票によるオーディエンス賞を授与する。

期 日：オーディション 令和3年9月15日(水)、16日(木)2日間

演奏会 令和3年11月 3日(水・祝)

会 場：大ホール

⑦邦楽演奏会

札幌市を中心に活動する邦楽演奏家による三曲(箏、三絃、尺八)の独奏、合奏の演奏会を開催する。出演者はオーディションにより決定する。

期 日：オーディション 令和3年8月9日(月・祝)

演奏会 令和3年11月14日(日)

会 場：小ホール

⑧市民美術・書道展

市民による美術(油彩画、水彩画、日本画、版画、その他)と書道(漢字、かな、近代詩文書、墨象、篆刻、刻字)作品の公募展を開催する。会期最終日に、表彰式と作品講評会を実施し、出品者・来場者の理解を深める。

期 日：令和3年12月8日(水)～12日(日)5日間

会 場：札幌市民ギャラリー 各展示室

⑨札幌市民吹奏楽祭

市内の小学校、中学校、高校、大学、職場・一般の吹奏楽団体が会し、日頃の成果を発表するとともに吹奏楽の魅力を紹介する演奏会を開催する。演奏を通じ約70団体が幅広く交流する。

期 日：令和4年1月29日(土)、30日(日)2日間

会 場：大ホール

⑩市民写真展

市民が撮影した作品を公募し、写真の多様な世界を紹介する展覧会を開催する。会期最終日には、表彰式と作品講評会を実施し、出品者・来場者の理解を深める。

期 日：令和4年2月4日(金)～11日(金・祝)8日間

会 場：4階ギャラリー

4 広報活動

①ホームページ活用による広報

ホームページを活用して、施設利用、主催事業に関する情報提供を行う。紙媒体の情報誌と連動した内容を工夫するとともに、施設の仮予約、事業参加申し込みや、各種問い合わせに対応するなど、インターネットによるサービス向上を図る。

②情報誌の編集、発行

「人と芸術と社会をつなぐ」をコンセプトに、地域と人をクローズアップした情報誌を編集するとともに、若者向けのデザインで舞台芸術をジャンル別に紹介する告知ペーパーを作成する。

情報誌「楽」(A4版冊子、年3回発行)「act」(変形サイズリーフレット、年3回発行)。

③メディアを通じた情報提供及び広告等

新聞・雑誌・テレビ・ラジオ・インターネットなど様々なメディアへの情報提供を行い、施設や事業について市民に広報するほか、マスコミ各社と事業提携を図り、主催事業の告知を新聞、テレビ等を活用しPRする。

④芸術の森、コンサートホール、市民交流プラザとの連携による広報及び販売促進

チラシ配布、ポスターの掲出、各事業部「友の会」会員へのダイレクトメール送付・チケット優待などを継続し、相互の広報・販売促進に取り組む。

⑤案内、プレイガイド、物販

教育文化会館1階ロビーのプレイガイドにおいて、館内施設や催しの案内業務を行うとともに、主催事業や市内の各種舞台公演のチケットを販売し、市民へのサービス向上を図る。

⑥教文☆ナビ

教育文化会館に対する市民の関心や親しみを喚起することを目的とし、施設の機能を活用した体験型事業を実施する。

5 市民ギャラリー事業

①市民ギャラリー美術映画会

大画面による迫力ある映像を通じて多様で魅力的な美術作品を鑑賞する場および芸術情報を提供し、気軽にアートに触れる環境を創出する。1984年から毎年継続しており、恒例事業として広く市民に親しまれている。

期 日：年10回開催予定

会 場：展示室

②市民ギャラリー手づくり作品市場

美術・工芸・手芸など様々なジャンルのアート作品を発表・販売する場を、天候に左右されない屋内で提供。例年、多くの集客が見込める展覧会に合わせて開催しており、地域のまちづくり、交流に寄与している。

期 日：令和3年5月15日(土)

会 場：1階ロビー

③カルチャーナイト2021

札幌市全域で公共施設や文化施設などを夜間開放して市民が地域の文化を楽しむ「カルチャーナイト」に参加し、市民ギャラリーならではの趣向を凝らして実施する。

期 日：令和3年7月16日(金)

会 場：1階ロビー ほか

④教文13丁目笑劇一座出張公演

市民参加型喜劇事業である教文13丁目笑劇一座の出張公演を開催する。公募で集まった出演者が稽古を重ね、その成果を教育文化会館小ホールのほか、高齢者施設等市内各所で発表しており、2010年より施設間連携事業として市民ギャラリーにおいても開催し、地域に笑いを届けている。

期 日：調整中

会 場：展示室

⑤市民ギャラリーワークショップ

市民ギャラリーで展覧会を主催する団体と協力し、子どもや初心者でも気軽に参加できる工芸等の講習会を開催するほか、ギャラリーにちなみ「お絵かき」をテーマとした独自のワークショップを、主に夏休み・冬休み期間に実施し、子どもたちの参加を促進する。

期 日：陶芸体験教室 令和3年7月23日(金・祝)、24日(土)
七宝体験教室 令和3年7月24日(土)、25日(日)
夏休みお絵かきワークショップ 令和3年8月15日(日)
開館40周年記念 冬休みお絵かきワークショップ 令和4年1月16日(日)

会 場：展示室

⑥開館40周年記念 カタチがテーマの絵画公募展「〇展」

新規

ごくシンプルな共通テーマを設けた絵画企画展。初回はマルをテーマに作品を募集、eメールによる写真応募とし、在宅でも楽しめるよう、基本的に全作品をWeb公開、市民ギャラリーでも一定期間公開する。

期 日：調整中

会 場：展示室

⑦市民ギャラリーウインターコンサート

札幌市民芸術祭「新人音楽会」にて大賞や奨励賞などを受賞した若手アーティストの演奏により、美術作品に囲まれながら音楽を楽しむ機会を提供するとともに、市民と地元アーティストとの交流や生演奏の魅力などを幅広く市民に紹介する。また、町内会等と連携したコンサートも調整中。

期 日：令和3年12月11日(土) ほか

会 場：第1展示室

⑧開館40周年記念 市民ギャラリー子ども映画会

子どもたちがアートに興味を持つ契機となるような芸術性の高いアニメーションを上映する。家族連れや子どもの来館者が多い冬休みや春休み期間中に実施する。また、子どもの書道作品を展示する展覧会に合わせ、ロビーでミニ上映会を開催する。

期 日：冬休み子ども映画会 令和4年1月15日(土)

春休み子ども映画会 令和4年3月26日(土)

会 場：展示室

※ロビーでのミニ上映会は令和3年12月24日(金)～26日(日)

⑨高文連石狩支部美術・書道展

新規

高文連石狩支部との共催で、美術専門部および書道専門部の展覧会会期中に、生徒による市民を対象とした関連ワークショップを開催する。

期 日：令和3年8月3日(火)～8日(日・祝)

会 場：第1～5展示室、展示ホール1～2、予備展示室

主 催：北海道高等学校文化連盟石狩支部美術専門部・書道専門部

共 催：札幌市民ギャラリー(札幌市芸術文化財団)

⑩高文連全道美術展・研究大会

新規

高文連との共催で、高校生の文化活動の健全な発展を目的とした全道高等学校美術展・研究大会を共催する。

期 日：令和3年10月11日(月)～13日(水)

会 場：第1～5展示室、展示ホール1～2、予備展示室

主 催：北海道高等学校文化連盟

共 催：札幌市民ギャラリー(札幌市芸術文化財団)

⑪札幌市中学校美術・書道展

学校教育に対する協力事業として、中学校での授業・部活動において制作した美術書道作品を展示し、美術書道教育の振興に寄与する。

期 日：令和3年11月16日(火)～21日(日)

会 場：第1～5展示室、展示ホール1～2

主 催：札幌市中学校文化連盟

共 催：札幌市民ギャラリー(札幌市芸術文化財団)

⑫中央区東地区連合町内会コンサート

地域住民の交流とまちづくり活動の理解促進を目的に、地元町内会との連携事業として、親子で楽しめるコンサートを開催予定(10月にまちづくりセンター移転予定のため未確定)。

期 日：調整中

会 場：展示室

主 催：東地区連合町内会

共 催：札幌市民ギャラリー(札幌市芸術文化財団)

⑬札幌圏大学生合同写真展

写真ライブラリー閉館後からの継続事業。写真文化の振興と普及のため、札幌近郊の各大学写真部による写真展を開催する。

期 日：令和4年3月

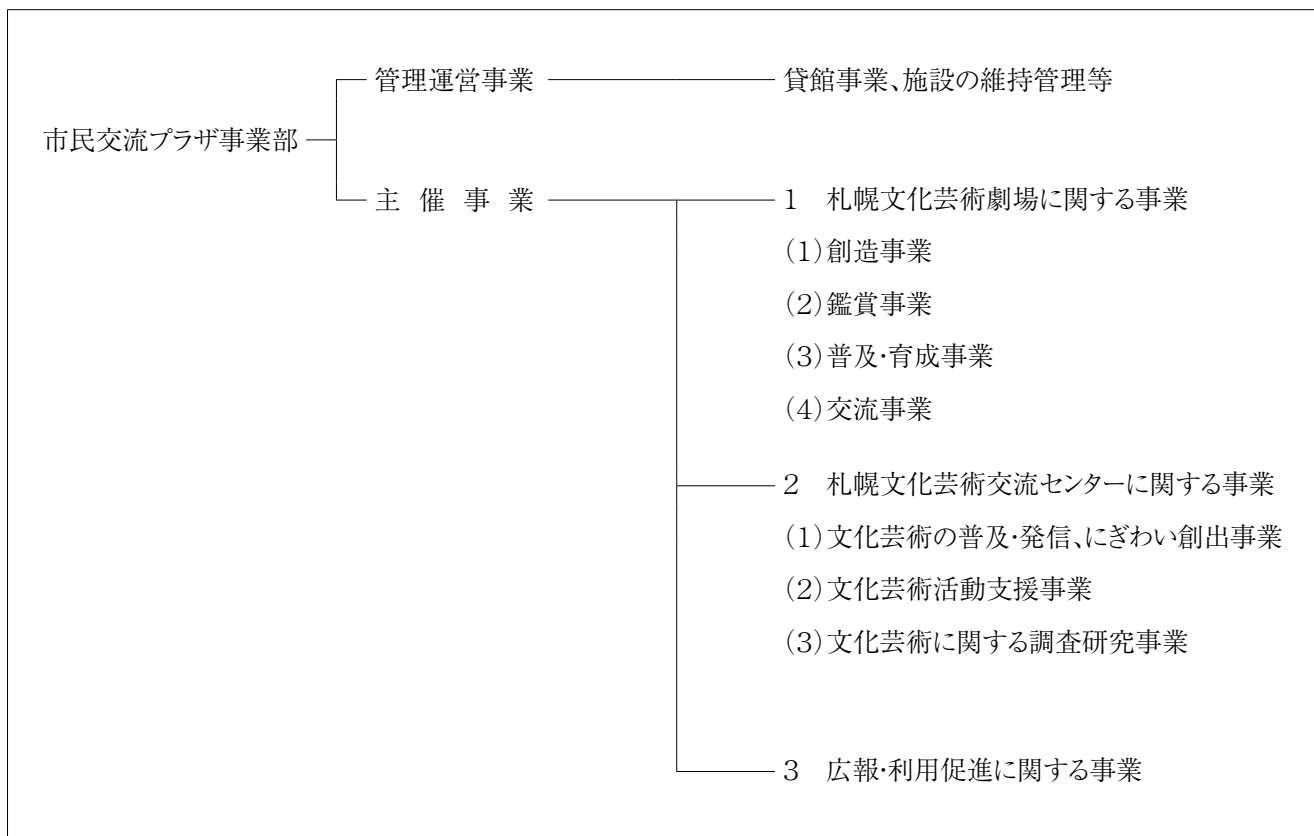
会 場：展示室

主 催：札幌圏大学生合同写真展EX

共 催：札幌市民ギャラリー(札幌市芸術文化財団)

IV. 市民交流プラザ事業部

1. 事業体系



2. 管理運営事業

		令和元年度 実績	令和2年度 見込	令和3年度 目標	
利用 状 況	札幌文化芸術劇場	劇場 利用率	72.6%	57.2%	80%
		クリエイティブスタジオ 利用率	82.4%	55.1%	75%
		練習室等 利用率	63.1%	52.1%	60%
	札幌文化芸術交流センター (SCARTSコート、SCARTSスタジオ、SCARTSモール等) 利用率		80.9%	63.8%	75%
	総来館者数(札幌市図書・情報館含む)		1,693,326人	570,657人	1,200,000人

※札幌市による新型コロナウイルス感染症対策の一環により、令和2年4月14日～令和2年5月31日は全館貸出休止

【参考】

平成30年度全国公立文化施設平均稼働率

大ホール(1,000席以上)：60.4%

(出典 公益社団法人全国公立文化施設協会「令和元年度 劇場、音楽堂等の活動状況に関する調査研究報告書」)

3. 主催事業

1 札幌文化芸術劇場に関する事業

(1) 創造事業

①〈hitaruバレエプロジェクト〉プレ公演「白鳥の湖」

新規

「hitaruバレエプロジェクト」は地元のバレエ団体、アーティスト、劇場、スタッフなどが総力を結集し、2年に1回のペースでhitaruオリジナルのバレエ公演を創造・発信していく企画。今回は、日本バレエ協会北海道支部との共催により、そのプレ公演として実施する。

期 日：令和4年2月27日(日)

会 場：札幌文化芸術劇場

指 揮：磯部省吾

新振付・演出：篠原聖一

芸術監督：真下教子

出 演：管弦楽：札幌シンフォニエッタ ほか

②Creative Opera Mix

令和元年度からの継続事業として、オペラをテーマとする札幌独自の創造的作品を上演する。オペラファンの裾野を一層広げていくことを目的とし、ストリートダンス、ジャズ、オペラ、DJという多様な芸術ジャンルのアーティストが集結し、まだオペラを知らない層にその魅力を伝え、将来的な聴衆の掘り起こしを図っていく。令和2年度まではクリエイティブスタジオで実施していたが、令和3年度はその集大成として初めて劇場で開催する。

期 日：令和4年1月23日(日)

会 場：札幌文化芸術劇場

出 演：ダンス・振付：SHOKO

ピアノ・編曲：福由樹子

DJ・編曲：DJ TAMA a.k.a. SPC FINEST

ソプラノ：川島沙耶 ほか

(2) 鑑賞事業

①熊川哲也 Kバレエカンパニー

新国立劇場バレエ団によるチャイコフスキー3大バレエに続く新たなバレエ企画として、北海道出身の世界的大舞踊家熊川哲也が率いるKバレエカンパニーによるグランド・バレエを、プラザ開館3周年を祝うプラザフェスティバルの主要事業として実施する。

期 日：令和3年10月2日(土)、3日(日)

会 場：札幌文化芸術劇場

演出・振付：熊川哲也

出演：熊川哲也 Kバレエカンパニー

指揮：井田勝大(予定)

管弦楽：シアター オーケストラ トーキョー

②Noism Company Niigata

新規

りゅーとぴあ(新潟市民芸術文化会館)を拠点に活動する日本初の公共劇場専属舞踊団「Noism Company Niigata」によるダンス公演を実施する。令和2年度にクリエイティブスタジオで実施予定であったが、新型コロナウイルス感染症拡大の影響を受け令和3年度に延期、会場を劇場へ変更し実施する。

期 日：令和3年7月31日(土)

会 場：札幌文化芸術劇場

演出・振付：金森穰

出 演：Noism Company Niigata

③hitaruのひとつき

市内中心部の地下鉄直結という優れた立地条件を活用するとともに、親しみやすい曲を多様なテーマ・キャストイングにより実施する公演事業。これまで実演芸術に親しむ機会が少なかった市民にも気軽に鑑賞していただくため料金設定をおさえ、幅広い市民に札幌文化芸術劇場 hitaruの魅力を知っていただくことを目的とする。

1) Mi Tierra Andalucía ～私の地 アンダルシア～

日本人ダンサーとして異例の本国スペインの国際コンクール優勝を果たしたバイラオールSIROCOによる北海道初となるフラメンコ公演を実施する。なお、当該事業についてはオンライン配信も予定している。

期 日：令和3年6月11日(金)

会 場：札幌文化芸術劇場

出 演：バイラオール：SIROCO

ギター：徳永健太郎

ヴァイオリン・ピアノ：森川拓哉

カンテ：パコ・エル・プラテアオ ほか

2) ～ANÚNA 神秘的ケルティック・コーラス～

アイルランドの男女混声合唱団ANÚNAを招聘し、クリスマスの季節にぴったりのケルト音楽を中心としたプログラムをお届けする。札幌ではなかなか聴くことのできない諸外国の伝統的な音楽や芸術を楽しめる機会を提供し、市民に多様な文化芸術への興味関心を持っていただく。なお、当該事業は令和2年度に実施予定であったが、新型コロナウイルス感染症の影響によりANÚNAの来日がかなわなかったため、令和3年度に招聘する。

期 日：令和3年11月25日(木)

会 場：札幌文化芸術劇場

出 演：合唱：ANÚNA

3) ～VR能「攻殻機動隊」～

日本が世界に誇る古典芸能「能」と昨今注目される新技術「VR」の異なるジャンルそれぞれの第一線で活躍するトップランナーたちが、SF漫画作品「攻殻機動隊」を舞台化する公演。最新のテクノロジーを駆使し、ゴーグル無しで楽しめるVRで描く映像や世界が絶賛する古典芸能「能」、世界的な人気を誇るアニメ芸術の融合により生まれる新しい舞台を紹介する。

期 日：令和4年1月15日(土)

会 場：札幌文化芸術劇場

演 出：奥秀太郎

出 演：坂口貴信

技 術：福地健太郎、稲見昌彦 ほか

④共催事業の誘致

1) ミュージカル「モーツァルト！」

新規

平成14年の日本初演以来、日本のミュージカルファンを魅了し続けている大型ミュージカル。ヴォルフガング・モーツァルト役に人気のミュージカル俳優 山崎育三郎・古川雄大(Wキャスト)を迎え、全4日間、計5公演上演する。

期 日：令和3年5月14日(金)～17日(月)

会 場：札幌文化芸術劇場

主 催：北海道新聞社、UHB北海道文化放送、道新スポーツ、エフエム北海道、道新文化事業社

共 催：札幌文化芸術劇場 hitaru(札幌市芸術文化財団)

2) 第2回さっぽろ落語まつり

落語家・三遊亭円楽がプロデュースし福岡・博多で大成功を取めている落語まつりの札幌版で、令和2年度の延期公演。総勢約30名の落語家が出演し、札幌文化芸術劇場 hitaru、道新ホール、共済ホールの3会場で3日間、計15公演行う。

期 日：令和3年5月28日(金)・29日(土)・30日(日)

会 場：札幌文化芸術劇場(3日間6公演)、道新ホール(3日間5公演)、共済ホール(2日間4公演)

主 催：TVhテレビ北海道、北海道新聞社、道新スポーツ、道新文化事業社

共 催：札幌文化芸術劇場 hitaru(札幌市芸術文化財団)

協 力：オフィスまめかな

3) ミュージカル(調整中)

不朽の名作を全3日間、計5公演上演する。

期 日：令和3年12月

会 場：札幌文化芸術劇場

主 催：道新文化事業社 ほか

共 催：札幌文化芸術劇場 hitaru(札幌市芸術文化財団)

(3) 普及・育成事業

① 室内オペラ(仮称)

クリエイティブスタジオを活用して、小規模ながらも質の高いオペラ公演を実施することで、オペラの魅力を幅広い世代に広く知ってもらうことを目的とする。チケット料金設定もおさえて、多数の人に来場を促し、劇場での大規模なオペラ公演に関心をもってもらえるようにする。

期 日：調整中

会 場：クリエイティブスタジオ

出 演：調整中

② オペラ・バレエ関連イベント

オペラやバレエの主催公演を実施するにあたり、オペラやバレエの魅力を伝え理解を深める機会の提供を目的とし、実施する。また、札幌大谷大学との連携プログラムも継続する。

期 日：調整中

会 場：クリエイティブスタジオ ほか

講 師：調整中

③ 青少年向けバレエ鑑賞事業

芸術を通して豊かな感性を育む機会の提供を目的とし、札幌市内の中学校2年生を対象にした、青少年向けバレエ鑑賞事業を引き続き実施。国内のみならず、世界的な評価を得てきた東京バレエ団による、解説付きプログラムを上演する。

期 日：令和3年6月15日(火)

会 場：札幌文化芸術劇場

出 演：チャイコフスキー記念 東京バレエ団

演 目：ドン・キホーテより抜粋、ボレロ(モーリス・ベジャール振付)

④ クリエイティブスタジオ活用事業

市内文化芸術団体などと連携し、音楽・舞踊・演劇など様々なジャンルの実演芸術の創造と鑑賞の機会を広く市民に提供し、創造的な文化芸術活動の普及と活性化を促進する。

1) クリエイティブスタジオ シネマシリーズ-4、5

映画監督を招き、監督自らに影響を及ぼした映画の上映と講演を行う令和2年度からの継続事業。令和2年度は入江悠監督、今泉力哉監督、黒沢清監督を招き、各監督が選定した2作品の映画上映と講演を実施した。令和3年度も同様の枠組みで実施し、表現者がどのような視点で映画を鑑賞しているか理解を深めてもらう機会を提供する。

- ①期 日：令和3年9月23日(木・祝)
会 場：クリエイティブスタジオ
出 演：大九明子監督
- ②期 日：令和3年11月23日(火・祝)
会 場：クリエイティブスタジオ
出 演：濱口竜介監督

2) 高嶺格「歓迎されざる者」札幌編(仮称)

新規

平成30年に文化庁メディア芸術祭京都展「Ghost(ゴースト)」で行われた現代美術家 高嶺格による公演「歓迎されざる者」をベースに、札幌バージョンとして再制作を行う。実験的な新しい表現を鑑賞する機会を創出し、鑑賞者層の裾野を広げる。実演芸術の制作を行う劇場事業課とメディアアート・美術展の企画・運営実績を有するセンター事業課との連携により、双方の人材交流を促進し、企画の充実を図る。

- 期 日：令和3年8月27日(金)～9月5日(日)(調整中)
- 会 場：クリエイティブスタジオ

3) 藤田貴大「かがみ まど とびら」

新規

気鋭の演劇作家 藤田貴大(マームとジブシー)による新作演劇公演。(公財)埼玉県芸術文化振興財団が企画製作をし、全国の劇場と連携して全国ツアーを行う。札幌公演は(公財)北海道文化財団と共催で実施する。令和元年度、クリエイティブスタジオにて開催した藤田貴大「めにみえない みみにしたい」公演が好評を博し、今回はその続編。子どもから大人まで幅広い年代に質の高い演劇作品の鑑賞の機会を提供する。

- 期 日：令和3年8月10日(火)、11日(水・祝)
- 会 場：クリエイティブスタジオ

4) All Sapporo Professional Actors Selection Vol.3「暴雪圏」

札幌を代表する俳優を中心に、演劇作品を創り上げるAll Sapporo Professional Actors Selectionの3回目。令和元年度「虹と雪、慟哭のカッコウ～SAPPORO'72」、令和2年度「北緯43°のリア」を経て、令和3年度は北海道出身の作家 佐々木譲の名作「暴雪圏」を上演する。質の高い作品をクリエイティブスタジオで創り上げる演劇の創造事業として(公財)北海道演劇財団ほかとの共催により実施する。

- 期 日：令和4年3月9日(水)～17日(木)(調整中)
- 会 場：クリエイティブスタジオ
- 原 作：佐々木譲
- 演 出：斎藤歩(札幌座)

(4) 交流事業

① プラザフェスティバル

多くの市民に市民交流プラザへの愛着を持ってもらうとともに多様な交流を促進することを目的として、開館記念日である10月7日に近接する週末に実施する。令和3年度は熊川哲也 Kバレエカンパニー公演、音楽ライブ用の極上の音響機材で映画を上映する「爆音映画祭」のほか、モリヒコプロデュースによるマルシェなど、全館を挙げて市民を迎えるプログラムを実施する。

- 期 日：令和3年10月1日(金)～3日(日)
- 会 場：館内各所

2 札幌文化芸術交流センターに関する事業

(1) 文化芸術の普及・発信、にぎわい創出事業

① テクノロジーとヒューマニティ展(仮称)

新規

クワクボリヨウタ氏を含む4名程度のアーティストによる、コンピューターと人間、無機物と生命、情報と感情の今日的な関わり方を考えるメディアアート展を開催する。++A&Tの成果展も同時開催し、幅広い層に対して、今日のアートと不可分の関係にあるテクノロジーについての理解促進や、メディアアートの普及につなげていく。

期 日：令和3年9月3日(金)～10月10日(日)

会 場：SCARTSコート

② ++A&T SCARTS ART&TECHNOLOGY Project～プラプラットフォーム

ユネスコ創造都市ネットワーク・メディアアーツ分野の加盟都市として、アート表現における「メディア」や「テクノロジー」に若いうちから触れてもらう実験的な試みとして実施。テーマに沿った講師を招き、ワークショップや展示などのプログラムを行う。また、上述のとおり今年度は「テクノロジーとヒューマニティ展」(仮称)との連動を図り、プロジェクトを広く発信していく。中高生が主な対象。年2事業の実施を予定している。

期 日：調整中

会 場：SCARTSモール ほか

③ SCARTSステージシリーズ

音楽やダンス、演劇など札幌ゆかりの優れた表現者による多様な実演芸術との出会いの場を作り、市民が気軽に舞台芸術に親しむ機会を提供する。また財団と連携協定を結ぶ大学の若手音楽家に発表の機会を提供することにより、次世代を担う人材の育成に寄与するコンサートを実施する。全5回の公演を予定している。

期 日：調整中

会 場：SCARTSコート

④ 連携事業

市民交流プラザの施設を有効に活用し、施設や地域ににぎわいを創出すること及び市内外の他事業を都心で実施することを通して、市民により多彩な文化芸術に触れる機会を提供することを目的に、札幌文化芸術劇場や札幌市図書・情報館、財団他施設、既存の他事業などと連携した多様な事業を展開する。

期 日：通年

会 場：SCARTSコート ほか

⑤ プラザフェスティバル[再掲]

市民交流プラザの開館を記念し、多くの市民に市民交流プラザへの愛着を持ってもらうことを目的として実施する。センター事業課では、マルシェをはじめ、にぎわい創出のためのイベントの開催を予定している。

期 日：令和3年10月1日(金)～3日(日)

会 場：館内各所

⑥ Sapporo Winter Change 2022

積雪寒冷地である札幌の冬の暮らしや文化をテーマとしたプロジェクトを継続的に展開。札幌の冬季アートイベントや札幌国際芸術祭と連携し、さっぽろ雪まつりなどで訪れる観光客といった、様々な人々に札幌を見つめ直してもらう契機となる作品展示やトークイベントを実施する。

期 日：令和4年2月

会 場：調整中

⑦西2丁目地下歩道映像制作プロジェクト

市民交流プラザの入り口の一つである西2丁目地下歩道において、質の高い映像作品を公開していくことで、市民が文化芸術に親しむ機会を提供する。また、映像を制作した作家を招いてトークイベントを行うことで、映像に込められた思いなども発信していく。

期 日：通年

会 場：西2丁目地下歩道

⑧インフォメーションカウンター

市民が気軽に立ち寄り、文化芸術に関する情報の収集・発信ができる場を提供することを目的に、窓口にはスタッフが常駐し、市内の文化イベント情報に関する問い合わせや、イベントチラシの持ち込みなどに対応する。また、文化芸術活動に関する軽微な相談への対応、相談サービス担当職員への取り次ぎなど、相談サービスとの連動を図る。

期 日：通年

⑨SCARTSウェブ

ウェブサイトを通して広く一般にSCARTSの活動を周知するとともに、文化芸術活動に役立つ情報(市内文化イベント、市内アートスペース、助成金・公募などの情報)を集積して提供することで、アーティストや文化芸術団体の活動支援につなげる。また、対面による相談サービスを補完するサービスとしても活用する。

期 日：通年

(2)文化芸術活動支援事業

①SCARTS相談サービス

情報提供を通してアーティストや文化芸術団体の活動を支援し、市内の文化芸術活動の活性化や質の向上に資することを目的に、相談業務を行う。事前予約制で、アーティストや文化芸術団体からの問い合わせ(活動場所、広報手段、助成金など)に対する情報提供やアドバイスをを行うとともに、アーティストなどを必要とする企業や団体とのマッチングを行う。

期 日：通年

②SCARTSレクチャーシリーズ

文化施設職員やアートマネジメントに関わる方などに対して文化芸術に関連する書籍を紹介するカンファレンスと、アーティスト向け講座を実施する。なお、アーティスト向け講座においては、相談サービスで相談される内容もテーマとして取り上げ、相談サービスとの連動も図る。年5回の実施を予定している。

期 日：調整中

会 場：SCARTSコート

③アートコミュニケーション事業

ボランティアな活動を通して文化芸術と人々をつなぎ、地域コミュニティの活性化に寄与する創造的な市民「アートコミュニケーター」を育成する。令和3年度をもって活動期間満了を迎える1期生や、2期生の活動を引き続きサポートするとともに、令和2年度に募集した3期生に対して研修を行い、鑑賞サポートや情報発信といった基本の活動に加え、自主的な活動を促し、コミュニケーションの場づくりを図る。

期 日：通年

④公募企画事業

さまざまな主体による施設の多様な使用方法を示すことで、貸館の利用促進及び市内の文化活動の振興を図ることを目的として実施。文化芸術に関する事業を行う団体、民間事業者、個人を対象に企画を公募し、SCARTSとの共催事業として実施。SCARTSでは一部の費用負担や技術的支援を行う。令和3年度は前年度に実施延期となっていた2事業と、新たに採択した2事業の計4事業を実施する。

期 日：令和3年6月～8月、令和4年1月～3月

会 場：SCARTSコート、SCARTSスタジオ、SCARTSモール

⑤助成金事業

新規

現在札幌市で実施している「札幌市文化芸術振興助成金」をSCARTSで実施する。助成対象となる活動の範囲を拡大する一方で、助成金交付に関する審査方法を見直すことなどにより、札幌の文化芸術水準の向上に資する活動を重点的に支援できる制度にする。令和3年度は募集、審査、採択を行い、令和4年度以降に助成金を交付することを想定している。

期 日：通年

(3)文化芸術に関する調査研究事業

①調査研究事業

今後のSCARTSの活動に役立つ先進的な他都市の事例や情報などを委託調査及び担当職員による実地調査などにより調査研究し、成果を蓄積していく。また、調査研究に係る成果展の開催を予定している。

期 日：通年

②SCARTSレポート(活動記録集)

SCARTSの年間の活動を記録し、広く公開することにより、SCARTSの活動を周知し、市民の施設利用者数の増加などにつなげることを目的に、年1回記録集を発行する。また、活動記録にとどまらず、SCARTSで行った講座の講義録等を掲載し、アーティスト・文化団体などの活動に役立つものとする。記録集はウェブサイト上でも公開する。令和3年度については、令和2年度分の活動記録集を発行する。

期 日：通年

3 広報・利用促進に関する事業

(1)広報

①広報誌作成と事業広報との連携強化

圏域住民の市民交流プラザへの理解と支持を得るため、情報誌「WAVE TIMES」を発行し市民交流プラザの取り組みを広く周知する。また、劇場・センターの各事業課および札幌市図書・情報館と連携しながら、主催事業やセンターの機能等について市民交流プラザを一体的に広報する。さらにプラザスケジュール「PLAS」を発行することで、主催公演などのチケット販売促進につなげる。

期 日：通年

②ホームページ、SNSなどを活用した広報

ホームページ、SNSなどを通じて、即時性のある情報発信を行うとともに、紙媒体だけでは伝わりづらい公演や事業の詳細な情報提供を行う。また、外部業者との連携も図りながら公演などのチケット販売サイトへの誘導を行う。

期 日：通年

③メディア対応とプレスリリース

市民交流プラザについての取材依頼、パブリシティ(無料)掲載などに対応し市民交流プラザの認知度を高めるとともに、市民交流プラザ全体で行われる事業や共催事業などのプレスリリースを行い周知やチケット販売促進につなげる。

期 日：通年

④その他の広報制作物

市民交流プラザ周辺の賑わい創出とメンバーズ会員への特典として「創成おさんぽMAP」や「ホテルインフォメーション」、控室や練習室などの貸室利用促進のための広報物などを作成する。

期 日：通年

(2) 利用促進

①施設利用に関する営業

劇場及びセンター諸室の貸館利用促進に向け、地元興業主との情報交換を密にするほか、「ご存知ですか?プラザの貸室いろいろ」を作成・配布して会議や練習での利用を促す。また、これまで札幌での開催が少なかった魅力ある公演の誘致に向けた取り組みを進める。

期 日：通年

②会員制度の運営

会員制度「札幌市民交流プラザメンバーズ」のさらなる周知を図り、継続会員の確保と新規会員の獲得に努める。また、会員へのサービス提供として、主催公演の先行発売をはじめ、札幌文化芸術劇場hitaru見学会等の実施、近隣ホテルや飲食店での優待など、さらなる充実を図り、安定的な制度運営を行う。

期 日：通年

③協賛制度の運営

「札幌文化芸術劇場 hitaru オフィシャルスポンサー」制度のさらなる周知を進め、既存の法人・個人スポンサーの継続確保と、新規スポンサーの獲得に努める。

期 日：通年

2 芸術文化を推進するための付帯事業

定款第4条第3号に掲げる事業は、次の計画により行う。

1 駐車場の管理運営

札幌市郊外にある芸術の森では、施設利用者の便宜を図るため、駐車場の管理運営業務を行う。

利用状況	芸術の森		令和元年度実績	令和2年度見込	令和3年度目標
	駐車場	利用台数	72,706台	62,000台	68,000台

2 各種の活動及び発表の場の提供

教育文化会館と市民交流プラザは、財団主催事業や芸術文化のための利用等公益目的事業に関する利用に供する以外にも、学術会議や講演会のための利用等多様な活動の場としても施設の提供を行っていく。

3 その他公益目的事業の推進に資する事業

レストランの委託経営やグッズの販売、自動販売機の設置により施設利用者へのサービスの向上に努める。